

1 9 9 9

授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAYUME GAKUEN COLLEGE

目次（心理学科）

教養教育科目（1年）

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
近代日本の歴史	6
西洋文学	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
マスコミュニケーション概論	17
現代社会と女性	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25～27
総合英語Ⅰ－1、2	28～31
選択語学Ⅰ－1、2（英語）	32～38
選択語学Ⅰ－1、2（独語）	39・40
選択語学Ⅰ－1、2（仏語）	41
選択語学Ⅰ－1 海外語学研修	42
スポーツA（バドミントン）	43
スポーツA（テニス）	44
スポーツA（バレーボール）	45
スポーツA（ダンス）	46
スポーツB（キャンプ）	47
健康科学	48
スポーツ科学	49

専門教育科目（1年）

発達心理学Ⅰ	53
知覚心理学	54
学習心理学Ⅰ	55
学習心理学Ⅱ	56
臨床心理学	57
生理心理学	58
基礎技法演習	59
心理学演習Ⅰ	60
心理学演習Ⅱ	61
心理学総合演習	62～65
心理統計Ⅰ	66・67
心理統計Ⅱ	68・69

情報処理 I	70・71
情報処理 II	72

司書科目（1年）

生涯学習概論	75
図書館概論	76
図書館経営論	77
情報検索演習	78
図書館資料論	79
資料組織概説	80
資料組織演習	81
児童サービス論	82
図書及び図書館史	83
情報機器論	84

教養教育科目（2年）

総合英語Ⅱ－1、2	87～90
選択語学Ⅱ－1、2（英語）	91・92
選択語学Ⅱ－1、2（独語）	93
選択語学Ⅱ－1、2（仏語）	94

専門教育科目（2年）

心理学研究演習・卒業研究	97～104
心理学研究法	105～114
社会心理学	115
性格心理学	116
精神生理学	117
心理検査法	118
カウンセリング	119
児童相談	120
心理療法	121
コミュニケーション論	122
非行の心理学	123
障害児心理学	124
健康心理学	125
心理学特講Ⅰ	126
心理学特講Ⅱ	127
精神保健	128
精神医学	129

司書科目（2年）

図書館サービス論	133
情報サービス概説	134
レファレンスサービス演習	135
専門資料論	136
資料特論	137
コミュニケーション論	138
図書館特論	139

教養教育科目（1年）

【授業科目】 文学・フィクションと人間

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

小説・映画・ドラマ 中の世界は、**どこに** あるのだろうか？
それは、我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」だ。
この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標です。

【テキスト】

随時、プリントを配布します。プリント以外の「読書課題」は、ありません。

【参考書】

必要に応じ、講義中に紹介します。特別に買う「義務」はありません。

授 業 計 画

だいたい、次のような流れで、講義して行きます。
具体的作品は、プリント等を使って紹介＝解説します。

① 「フィクション」について

例えば「小説」に書かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり、「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。……映画も、テレビドラマも同じこと。
しかし、我々は、なぜ、そんな「ウソッパチ」に感動したり、中には「生き方が変わってしまう」人まで出てくるのか。

② 「作品世界」の構造（しくみ）について

「作品世界＝もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのだろうか。
そもそも、それは、誰が「見ている」世界なのか。「語っている」のは「誰」なのか。
少なくとも、いわゆる「作者」ではないはずだ。

③ フィクションと「現実」について

小説・映画・ドラマは「現実ではない」という。
では、「現実」とは、何なのだろうか？
何が「フィクション」で、何が「フィクションではない」のか。

……日本とヨーロッパの、近代文学作品を中心に、
美術や音楽も視野に入れた講義になると思います。

【評価方法】

筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて「書く」形式。
講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。
出席点を加味して、総合的に評価する。

【授業科目】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 日本の古典作品の多くが、受験文法のために使われるのみで、その内容を知られないままに終わってしまうのは、とても残念なことだと思われる。</p> <p>優れた古典は、作品としての主張を持っており、現代に生きる私たちの解説をこそ待っている。王朝文学のおもしろさに気づくことが、第一の目標である。ついで作品の主張の意味を時代に即して考えることにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岩波文庫『竹取物語』・配布プリント</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>初期の物語作品からまず『竹取物語』をとりあげ、口伝えによるカタリから物語が生成してくるこの意味について、考えていく。</p> <p>ついで『源氏物語』をとりあげて、物語の成熟のさまを見る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、様々な竹取の物語 2、カタリの話型と、話型による物語 3、難題婚譚の達成 4、かぐや姫とは何か（物語の主題） 5、物語の中の異界：『古事記』の場合・『源氏物語』の場合 6、源氏物語の論理：形代・予言・宿世・身分 7、源氏物語の主題：王法と仏法・社会制度と自我 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時のまとめメモ ・ 定期試験時のレポート（または筆記試験） 	

<p>【授業科目】 話し言葉の文芸</p>	<p>【担当者】 東 喜望</p>
<p>【開講期】 1 年 前期</p>	
<p>【授業目標】 将来に資するために、口承文芸をとりあげます。 初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。 大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。</p>	
<p>【テキスト】 拙著『沖繩奄美説話探訪』（おうふ社） 講義資料プリント。</p>	
<p>【参考書】 授業時に随時指示する。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>この講座は、はじめ保育科だけを対象にしていましたが、その後、各科共通になりました。新しく福祉援助学科もできましたので、人間の真のヒューマニズムを考えるためにも、悪や犯罪の民俗にかかわる民話も積極的にとりあげることになりました。各説話の事例として、南西諸島の説話をとりあげます。</p>	
<p><u>講義の概要</u></p>	
<p>I. はじめに——「虚学」のすすめ----- (1)「浦島説話の源流」 (2)「わが国をニッポンというのなせが。——古事記「岩戸神話」のルーツ</p>	
<p>II. 精神のコスモロジー----- (1)自然と人間 (2)ことばと文化 (3)「謡い」「語り」の発生——→文芸の起源</p>	
<p>III. 口承文芸概説--- (1)信仰と説話 (2)神話・伝説・昔話</p>	
<p>IV. 民話の現代性----- 悪を告発する民話——⁽¹⁾間引き・子がえい伝承 (2)継子・子売り・捨子伝承 (3)嫁家殺し・兄弟殺し・親捨(姥捨)伝承。 (4)いけにえ伝承。</p>	
<p>【評価方法】 定期試験時の筆記試験</p>	

【授業科目】 近代日本の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史的なものの見方、考え方を身につけてもらうために、日本の近代史を題材にしなが ら、時間の流れの中で移り変わり、変化をとげていく社会を構造的にとらえていく 手法について話しをしたい。どのような視点から歴史を見つめるかといったことから まず検討し、それを実践したとき何が見えてくるかを明らかにしてみる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるので講義中に逐次紹介する。資料はプリントして配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>これまでの歴史の学習の中ではあまり体験したことのない、ローアングルからの歴史 認識ということについてまず説明をしてみたい。歴史を支え、突き動かしている民衆 に視座を据えたこのアプローチからは、近年、多くの研究成果が生み出されているが、 実は、明治の初期に、すでにこのような視角から当時の民衆生活を克明に描き、そう いった人々をとりまく社会の構造について分析したルポや研究の書があった。まず、 これらを導きの糸にして、なぜそのような視角が成立し、そのような作品があらわれ ることになったのかを、当時の時代状況を検討することで明らかにしようと思う。歴 史的な事件や人物などの細かい知識は不要。ダイナミックに近代の全体像をつかみ、 その中でいろいろな形で歴史との関わりをもった人々に細心の注意を払い、その生き 様をみつめる目を養うことが重要。以下、次のようなテーマを設定して講義を進めた い（但し、順不同）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶことについて—まずは固定イメージの転換から ・ローアングルからの歴史とは ・日本近代の見取り図—近代史像のダイナミズム ・明治という時代—人々を取り巻く国家の枠組みは ・底辺民衆を見つめる目—潜入ルポルタージュの先駆、松原岩五郎 ・『日本之下層社会』が問い掛けたもの—近代化の実相 ・成金時代に書かれた『貧乏物語』—足腰の弱い経済発展 ・恐慌と戦争の1930年代—民衆が求めたものは 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">本年度のテーマ：映画になった西洋文学</p> <p>最近、映画化される西洋文学作品が多い。良質のストーリーを求めると優れた文学作品に行き着くためと、優れた文学作品が文化的遺産として時代を超えて受け継がれているためであろう。一方、現代の視点と問題意識で作られた映画は、文学作品に新しい解釈をもたらすことがある。また映画化のたびに違った相貌を見せる作品もある。本年度は映画を案内役に、豊かな西洋文学の世界に近づいていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回一つの文学作品について、映画の一部を視聴し、時代を経ても色褪せない文学の魅力のありかを考えたい。取り上げる予定の作品：</p> <p>ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』（1811年）；同映画(1995年)</p> <p>シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』（1847年）；同映画(1944年及び1996年)</p> <p>ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（1595年）；同映画(1968年及び1996年)</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』（1868年及び1869年）；同映画(1933年、1949年及び1994年)</p> <p>マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』（1936年）；同映画(1939年；リマスター版公開1998年)</p> <p>チャールズ・ディケンズ『大いなる遺産』（1860-61年）；同映画(1998年)</p> <p>アリス・ウォーカー『カラーパープル』（1982年）；同映画(1985年)</p> <p>エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』（1988年）；同映画(1993年)</p> <p>*作品は変更する場合がある。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート。</p>	

【授業科目】 西洋史概説	【担当者】 松本佐保
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>西洋の歴史について学ぶことは、何も過去についての知識を得るだけでなく、現代の西洋世界がいかにして形成されたかを知ることである。現代のような国際社会において、西洋の歴史や文化を知ることは、国際理解を深める上で非常に重要である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いないが、授業中に資料やプリントなどを配布する。</p>	
<p>【参考書】 参考文献は、授業中に随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>歴史的イベントそのものを追うだけではない、文化的側面にも焦点をあて歴史を多角的に見ていく。政治的・経済的出来事が、いかに文化活動や様々な社会現象と関連があったかを理解することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋古代文明の形成：ギリシャとローマ時代を中心に 2. 中世キリスト教社会の成立 3. ルネサンス時代：イタリア都市国家とルネサンス文化の開花 4. 宗教改革：カトリックとプロテスタントの対立 5. 重商主義と商業革命：フランスとスペインを中心に 6. 帝国主義と産業革命：イギリスを中心に 7. 商業革命と産業革命時代の都市文化—民衆の生活様式の変化— 8. フランス革命とナポレオン戦争 9. ウィーン会議から社会主義の誕生まで 10. 近代国民国家の形成：アメリカ、ドイツ、イタリアを中心に 11. 第一次世界大戦とその歴史的意義 12. 第二次世界大戦と戦後 13. 総括 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席状況、但し私語などで授業妨害した場合減点）、レポートと試験の結果に応じて評価する。</p>	

【授業科目】 東洋美術	【担当者】 鈴木 泉
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 東洋美術の中核は仏教美術であり、その仏教美術を知るための基本的存在が仏像彫刻と 言って差し支えない。本授業では、この仏像彫刻の歴史的な展開を、東洋の端に位置する 日本を例に概観し、東洋美術の一面を垣間見ることとする。そこから、美術作品を見る眼、 さらには美術に対する教養・知識の幅を広げることが狙いではあるが、なにより受講者諸 君には、仏像を通して美術鑑賞の面白さを知ってもらいたいと考えている。	
【テキスト】 テキストは用いず、適宜プリント資料を配布する。なお、参考文献等は必要に応じて授 業中に紹介して行くつもりである。	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>紀元前6世紀、釈迦によってインドに誕生した仏教は、紀元1世紀頃、礼拝対象として の仏教尊像すなわち仏像を造り出した。やがて、仏教の広まりとともに仏像もアジア各地 に伝わり、それぞれの国・地域でその表情や姿を変えて行くのである。通例「東洋」とは、 インド以東、主に東南アジア諸国・中国・朝鮮・日本を指す語とよい。しかし、そ の範囲は広く、各地域で文化の様相が異なり、美術様式も一様ではないため、必然的に地 域・内容を絞らざるを得ない。</p> <p>今年度は、我々にもっとも身近な日本の仏像彫刻に焦点を当て、その様式の古代から中 世にかけての変遷について概観する。日本の美術は、常に大陸、とりわけ中国・朝鮮の強 い影響を受けて進展を遂げて来た。彫刻も例外ではない。したがって、本授業においても この点を十分に踏まえ、随時中国・朝鮮等の仏像を比較参照の意味で紹介して行きたいと 思っている。なお、授業は大凡以下の順序・内容となる。一つのテーマを1～2回の講義 でまとめて行くつもりである（授業回数の都合により一部変更する場合あり／ほぼ毎回ス ライドを使用する予定）。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 仏像の誕生とその伝播 <ol style="list-style-type: none"> ①インドから中国・朝鮮への流れと日本への伝播 II. 仏像の見方 <ol style="list-style-type: none"> ②仏像の形式 ③仏像の材質・構造 III. 日本における仏像様式の展開 <ol style="list-style-type: none"> ④飛鳥時代の彫刻：[仏教伝来][渡来仏][止利仏師][止利様式と非止利様式] [法隆寺の諸像] ⑤白鳳時代の彫刻：[小金銅仏][当麻寺の諸像][旧山田寺仏頭][童顔] ⑥天平時代の彫刻：[法隆寺塔本塑像][薬師寺・興福寺・東大寺・唐招提寺の諸像] [写実] ⑦平安時代の彫刻：[唐招提寺木彫像群][一木造像][大仏師定朝][寄木造像] ⑧鎌倉時代の彫刻：[運慶・快慶と慶派仏師][新たな写実様式] IV. 総括 <ol style="list-style-type: none"> ⑨日本の仏像彫刻の特質／東洋美術への誘い～美術鑑賞のすすめ～ 	
【評価方法】 ①平常点（出席状況・受講態度等） ②レポート（1回） ③学期末試験（筆記） 以上を総合して評価する。詳細はあらためて授業中に説明する。	

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から起しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書(その都度指示する)

授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

} 左記3項による総合評価

<p>【授業科目】 現代社会論</p>	<p>【担当者】 鍾 家新</p>
<p>【開講期】 1 年 前期</p>	
<p>【授業目標】 われわれは二つの世紀の生活を経験する人間になる。21世紀の将来像は予測されにくい。しかし、全く予測できないものではない。21世紀は20世紀の社会遺産を継承・発展してゆく。20世紀＝現代社会の特徴は何か。現代人と現代社会との関係はどうであったか。個人はいかに現代社会のもとで生活し、適応してきたか。現代国家にとって人間は何か。本講義はこれらの諸問題の解決に役立つ知識と考えを提供することを目的とする。本講義では歴史社会学的視点と国際比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは現代社会・現代人を分析する知識と考え方を身につける。</p>	
<p>【テキスト】 なし</p>	
<p>【参考書】 講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> I 現代社会の本質 <ul style="list-style-type: none"> ①現代社会の定義 ②現代と現代以前 ③国による異同 II 現代社会の面相（1）＝産業社会 <ul style="list-style-type: none"> ①現代社会の発展の原動力：現代産業構造の形成 ②現代就業構造の形成 ③産業社会と現代人の意識構造の変化 ④消費社会と情報社会 III 現代社会の面相（2）＝管理社会 <ul style="list-style-type: none"> ①「管理社会」のイメージ ②管理社会化の現象・形態 ③管理社会と現代人 IV 現代社会の面相（3）＝福祉社会 <ul style="list-style-type: none"> ①現代社会問題の構造（高齢化など） ②現代社会の社会運営原則の限界 ③福祉国家と福祉社会 ④社会保障制度の構造・特徴・問題点 V 総括 — 20世紀の特徴と21世紀への展望 <ul style="list-style-type: none"> ①国際社会化と国民国家のゆくえ ②20世紀の特徴：科学技術の進歩／二次世界大戦／社会主義化と失敗／福祉国家化 ③21世紀への展望：西洋文明の強み／東洋文明の試練 	
<p>【評価方法】 試験と出席状況。</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。	
【テキスト・参考書】 望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館	
授 業 計 画	
1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のはたらき 3. 家族のタイプ 4. 家族のしくみ 5. 家族と福祉 6. まとめ	ー 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。 ー 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一樣に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。 ー 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。 ー 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。 ー 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。 (1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉 ー 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。
【評価方法】 ペーパーテストを期末に実施	

【授業科目】 日本国憲法

【担当者】 駒村圭吾

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

日本国憲法について講義を行う。学説や判例の紹介もさることながら、人権意識の育成や、日本・世界で発生している社会問題への関心の啓発に力点をおきたい。

【テキスト】

なし。

【参考書】

何でも良いので、「六法」と呼ばれるもの一冊を用意されたい。

授 業 計 画

- (1) 毎回、1回で完了するようにテーマを設定し、具体的な事例を通じて、憲法に対する基本的関心を育成する。
- (2) 例之は、外国人・公務員の人権、表現の自由の限界、政教分離、生存権と社会保障、生死の自己決定、天皇制、9条と国際平和、男女平等、など。
- (3) なるべく具体的かつ平明に語るつもりであるが、予習は不要であるが、毎回出席し克明にノートを取り、復習につとめてほしい。
- (4) 授業が開始されればお分りいただけると思うが、担当者は教室管理にともうるさい。受講態度の不良な学生については、たとえ初犯であっても、大学側の学則とは無関係に、退室を求め、以後の受講を拒否する場合がありますことをお断りしておきたい。学生諸君の相互的な自浄作用によって適切な学習環境ができることを希望したい。

【評価方法】

学年末の記述式テストで評価する。
必要があれば、出席点を加味する。

【授業科目】 市民生活と法	【担当者】 武藤健一
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 2年後あるいは1年後に、女性である皆さんが実際に社会に出てみて、女性として遭遇すると思われる事柄・問題について、法律という観点も加えて、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。</p>	
【テキスト】 テキストは用いません（レジュメ配布）。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 角田 由紀子 著 「性の法律学」（91年 有斐閣）、副田 隆重 他著 「ライフステージと法」（96年 有斐閣）の2冊をとりあえずあげておきます。</p>	
授 業 計 画	
<p>現代の日本では女性がどのような状況におかれているのかということ、</p> <p>1° 就職・労働、2° 恋愛・結婚・家族、という2本の柱を立てて、社会的に、法学的に考察していきます。</p> <p>授業数がおそらく10回未満になるので、この2分野のみで終わってしまうと思いますが（昨年度は終わりませんでした）、時間があればSexualityの問題なども取り上げてみたいと思います。</p>	
<p>【評価方法】 昨年度同様に、学年末に試験を行ない、授業での出席点（・レポート点）を加味して評価をしたいと考えています。</p>	

【授業科目】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

に本内外の具体的な政治現象を通して、政治とは権力闘争であることを理解する。

【テキスト】

中村勝範編著『運命共同体としての日米と台湾』(展転社、1989年)

【参考書】

授 業 計 画

本講義は、政治とは権力闘争であることを、以下の順に、具体的事例を通して解説する。

1. 政治の二面性
利害調整と権力闘争
2. 国内政治
政治家、政党による権力闘争
3. 国際政治
国家による権力闘争
4. 東アジア情勢
日米台と中国との対立

なお、受講中の私語、飲食は厳禁である。

【評価方法】

- ① 平常点
- ② 学期末のレポート

【授業科目名】 生活の経済学

【担当者】 内山哲朗

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

現代日本経済を転換期ととらえ、「生活の豊かさ」の再把握という視点より、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。

【テキスト・参考書】

第一回の講義の中で指定する。

授 業 計 画

講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。

- 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域——
- 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分——
- 3 戦後日本の生活の変容
- 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理——
- 5 「生活の豊かさ」と高齢社会
- 6 「生活の豊かさ」と環境問題
- 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター——
- 8 生活福祉と社会政策

【評価方法】

授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。

【授業科目】 マスコミュニケーション概論	【担当者】 瀬木博道
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代といえる。 マスコミとジャーナリズムの差違、「知る権利」の問題を考える とともに、卒業後に役立つマスコミの応用面（広告、広報など） にも目を向けてみたい。</p>	
<p>【テキスト】 瀬木博道ほか著 「コミュニケーションからPR」電通</p>	
<p>【参考書】 瀬木博道ほか著 「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所</p>	
授 業 計 画	
<p>1. <u>マスコミ・ジャーナリズム論</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マスコミとは何か ○ ジャーナリズムとは何か ○ 我が国ジャーナリズムの特徴 <p>2. <u>知る権利</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言論の自由と知る権利 ○ 言論の自由に関する自由主義理論と社会的責任理論 <p>3. <u>マスコミ応用面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放送（テレビ・ラジオ）の問題 ○ 広報概論 ○ 広告概論 	
<p>【評価方法】 出席状況、受講態度を参考にし、 期末試験で決める。</p>	

【授業科目】 現代社会と女性	【担当者】 川島美保
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代の女性の労働と暮らしの実態をとおして、来るべき男女平等社会、男女共生社会の課題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>適宜、資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業のなかで紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルの変化と女性の生き方 2. 女性の就労と労働環境 <ol style="list-style-type: none"> 1) 上昇する女性労働力率 2) 女性の働き方ー多様な就業形態ー 3) 賃金・労働条件の男女格差 4) 労働法制の規制緩和と女性労働 5) 長期不況と女性労働 3. 女性と家庭生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 家事・育児労働と性別役割分業 2) 共働きの生活問題 3) 女性の就労と子育て・介護支援システム 4. 少子・高齢社会と女性 5. アンペイド・ワークの社会的評価と男女共生社会 6. 男女共生社会への国内外の取り組み 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況及びレポート等による。</p>	

【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学の歴史はヒトから人間化への歴史である。人間は古代から生命、広くは生物的自然に強い関心を持ち、それについての理解は紆余曲折を経て科学の姿を整えてきた。この講義ではそれぞれの時代の定説がより科学的な考えにとってかわった過程を追求することにした。そして、今日では生命科学の成果は生命操作の時代を迎えた。そこで、現代の生命科学をもとに確立したバイオテクノロジーと人間や社会の未来についての課題にも言及したい。</p>	
【テキスト】 プリントを中心におこなう予定。	
<p>【参考書】 新編自然科学入門（甲斐義幸）学術図書、科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書、遺伝子の文明（フランソワ・グロ）丸善、近代科学の歩み（H. バターフィールド）岩波新書</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 科学を成立させた人間の条件</p> <p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か</p> <p>2) 生き物の本質を求めて</p> <p>a. 古代における生命の「母なる大地」の考え b. アリストテレス生命の完成への目的 c. ヘルモントの自然発生説 v s パスツールの実験 d. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ e. ラマルク：生物は段々と複雑になった f. ダーウィン：生物は共通の祖先から g. オパーリの生命の起源と「自然発生」説の復活 h. メンデルの遺伝の粒子説 i. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん j. バイオテクノロジーの確立と人間、社会の課題</p> <p>3) 私の研究史：ピートン物語</p>	
【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、自発的なテーマ設定の提出物を評価に加える。	

【授業科目】	生命の科学	担当者	小作明則
【開講期】	一年 後期		
<p data-bbox="243 315 448 353">【授業目標】</p> <p data-bbox="227 394 1379 577">21世紀を迎えようとしている今日「生物の多様性」の維持は地球上の生物環境をより安全な状態で維持していくための大きな課題である。この生物多様性を支えている「生命」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な理解を深め、さらに地球上における「人類」が抱えている今後の諸問題について概説する。</p>			
<p data-bbox="243 647 605 685">【テキスト・参考書】</p> <p data-bbox="432 725 1067 763">テキスト・参考書は特に指定しない。</p>			
<p data-bbox="720 835 871 873">授業計画</p>			
<p data-bbox="227 943 1359 1126">この講義では授業目標に掲げた内容を理解するためにおおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけでなく、できるかぎり実物を自分の目で見、手でさわり、バーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。</p> <p data-bbox="271 1133 1264 1171">以下に時間ごとのおおよその講義計画のタイトルを示す。</p> <ol data-bbox="271 1205 928 1536" style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命の誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と生物進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. 生物の存在と地球環境の変化 7. 脊椎動物の進化 8. 生殖方法の変化と動物進化 9. サルとヒト <p data-bbox="227 1574 1359 1682">以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩を通し、実物を見ながら生命について考えていこうと考えている。</p>			
<p data-bbox="243 1794 448 1832">【評価方法】</p> <p data-bbox="432 1872 887 1910">レポートあるいは筆記試験</p>			

【授業科目】 生物と環境	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類は多くの生物たちから様々な恩恵を受けてきた。しかしこの多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人類による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は私たち人類の将来にかかわってくる。ヒトと生物とその生存環境を考える。</p>	
<p>【テキスト】 OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997.9 翔泳社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今から30年以上前に、海洋生物学者のRachel L. Carson は『Silent spring』で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？ 知らないことが幸せなのか、知ることが不幸せなのか。</p> <p>授業は決して易しくはありません。幅広い基礎教養が要求されるはずです。今までの勉強がどれだけのものだったかが判ると思います。知る努力を惜しまず、共に考え続けていきたい。</p> <p style="padding-left: 40px;">自然科学の世界 単位について 環境とは 生物の世界 生態系、その構造と機能 天然化学物質と合成化学物質 沈黙の春 環境汚染 内分泌攪乱物質 奪われし未来</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点+筆記試験</p>	

【授業科目】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住ならびに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している原子や分子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本授業の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「物質とは何か」-化学の基礎- 東京教学社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗いてみよう。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何により決まるのだろうか。 6. 物質の状態は何により決まるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酸は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 人や物質の老化は防げるか。活性酸素の化学。 12. 物質科学とエネルギー。 13. 物質科学からみた衣類、高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 21世紀の物質の世界を考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、レポート、出欠により評価する</p>	

【授業科目】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2. 人体各器官の生理機能の理解 3. 代表的疾患の成因を理解し、疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の習得 ——生活習慣病と対策 4. 女性の医学 5. 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定）：自己測定を行い健康への関心を高める	
【テキスト】 シンプル 衛生公衆衛生学（改訂第6版）南江堂	
【参考書】	
授 業 計 画	
第1回 健康の概念 第2回 疾病予防と健康管理（I-1）：わが国の健康水準と健康増進施策 第3回 疾病予防と健康管理（I-2）：生活習慣病（癌・心疾患・高血圧） 第4回 疾病予防と健康管理（I-3）：生活習慣病（脳血管疾患・糖尿病・高脂血症） 第5回 疾病予防と健康管理（II）：健康管理法 （肥満・運動・ストレスと休養・飲酒・喫煙などの健康への影響） 第6回 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定） 第7回 女性の医学（I）（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン） 第8回 女性の医学（II）（主な疾患の概要） 第9回 女性の医学（III）（性病・人工妊娠中絶と避妊法） 第10回 学校保健・産業保健 第11回 環境保健・母子保健・地域保健・ 第12回 感染性疾患（インフルエンザ・肝炎・AIDSなど） 第13回 成人・老人保健 第14回 保健医療制度と法規	
【評価方法】 出席点とレポート	

【授業科目】 宇宙と地球	【担当者】 猪郷久義
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで宇宙の一構成員としての太陽系と地球の誕生を考察し、地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>その都度適当なものを推薦する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の地球観（地球の姿，地球上に働く力，大陸移動説とプレートテクトニクス） 災害と防災の地学（地震とその予知，火山災害と恩恵，海水面変動，気候災害と気候変動） 資源の地学（鉱物資源，金属・非金属資源，化石燃料，資源の偏在性と将来性） 地球の環境変遷史（宇宙と太陽系の誕生，隕石の科学，地球の誕生と生命の起源，原始地球の自然環境，二酸化炭素と酸素の起源，先カンブリア時代の生物進化，多細胞生物の出現，無脊椎動物の発生と爆発的進化，進化の実験場，脊椎動物の発生と上陸，植物の上陸戦略，緑の大地の出現と石炭，古生代末の危機到来と生物大量絶滅，ジュラシックパークの自然環境，中生代末の危機と生物大量絶滅，哺乳類の繁栄，人類と氷河時代） 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と論述形式のテストを行い総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1 年 前期 (この科目は「通年」ですが、3人の教員が担当し、栗田担当分は前期前半です)	
<p>【授業目標】 総合科目人間【ヒューマニズムと現代】<u>全体</u>について</p> <p>☆ 1年間で3人の教員が担当する「総合科目」です。</p> <p>様々な発想・見解・学説がクロスオーバーする、本当に大学らしい知的刺激の場を目指します。「その1」～「その3」の3部に分かれます。</p> <p>☆ 【ヒューマニズムと現代】を統一テーマとして取り組みます。</p> <p>「ヒューマニズム」の問題性は？ 「現代」における人間とは？ 戦争や人権の問題は？ 以下3頁を見て下さい。</p> <p>その1—【人間と「ヒューマニズム」】(栗田担当分)については、下記の「授業計画」欄を見て下さい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ、講義中に紹介します。特別に買う「義務」はありません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>本学の「建学の理念」とされる「ヒューマニズム」を、 自由に考えてみよう!</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>「ヒューマニズムは間違っている！」 などと言う人は、めったにいません。 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のでしょうか。 「そんなの、アタリマエでしょ」では、 「自分の思想」にも「学問」にもなりません。 要するに、「世間の通念」に流されているだけ。 —そういう「ヒューマニスト」は、実に簡単に、 「ファシズム」にも流されてしまう(かもしれない)。</p> </div> <p>総合科目人間【ヒューマニズムと現代】の、 その1(第1部)は、【人間と「ヒューマニズム」】の問題を、おおむね、以下の順に講義します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>【1】 人間の条件——「私」とは誰か。 ……「死」に向かう存在。「独我論」の世界か、「私を生み出した世界」か。</p> <p>【2】 「他者」との出会い。 ……「どうにかせすにはいられない」のに「どうにもならない」人。</p> <p>【3】 人間の自己肯定——近代ヒューマニズムの「栄光と悲惨」 ……我々は、ほんとうに「しあわせ」になったか。</p> </div> <p>大きな問題ばかりですが、「明るく楽しく考えたい」と思っています。 詳細は、講義の「空気」の中で、決めて行きます。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート。まじめに参加していれば大丈夫!</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国の人口は世界の五分之一を占めている。現代中国の民衆を論じることは、現代社会の人間を論じることになる。本講義は、日中比較を通して、中国民衆の人間像 — 喜び・悩みなどを明らかにし、日本人と中国人の人間像の異同を探究する。ヒューマニズムの視点と国際比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは人間、社会、外国を相対的に見るための知識と能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『中国民衆の欲望のゆくえ — 消費動態と家族変動』新曜社、1999年。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> I 中国の「一人っ子政策」と日本の少子化 <ul style="list-style-type: none"> ①中国の人口問題と「一人っ子政策」 ②日本の少子化 — 日本の人口政策の変遷 II 中国の家族構造の深層と日本の家族 <ul style="list-style-type: none"> ①中国の家族構造と伝統文化の深さ ②外国人が見る日本の家族構造の特徴 III 中国女性の社会的地位と日本女性の社会的地位 <ul style="list-style-type: none"> ①中国女性の社会的地位と「一人っ子政策」 ②外国人が見る日本女性の社会的地位 IV 中国民衆の「衣食住」と日本民衆の「衣食住」 <ul style="list-style-type: none"> ①中国民衆の「衣食住」 ②日本民衆の「衣食住」 ③消費社会化の収斂 V 21世紀アジア人のゆくえ <ul style="list-style-type: none"> ①アジア人としての意識の確立の難しさ ②われわれの課題 VI 総括 — 現代社会における人間の奮闘と苦悩 <ul style="list-style-type: none"> ①個人と国家との関係 ②人権・ヒューマニズムの重要性 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマニズムと現代 その3 前期のヒューマニズムと人権に引き続き平和について考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるとはどのような状態をいうのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを一緒に考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>差し当たっては最も平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争について、発生のメカニズムやそれがもたらす災禍を具体的な事例に即して検証する。次いで、そのような状態を回避するための取り組みがどのように行われてきたかを検討し、過去、現在そして将来におけるその有効性について考える。また、そういった行動の背景となった近代の平和思想の歴史についても触れてみたい。</p> <p>次のようなテーマで話しを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アジア・太平洋戦争と人・物・カネの総動員システム ◇現代戦争とゼロッサムの世界 ◇核被害の実情と核廃絶への挑戦 ◇平和憲法への道—近代の平和思想の歴史 ◇憲法9条を取り巻く現実 ◇「平和維持軍」が維持する「平和」とは何か ◇平和への課題—人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 森田真澄
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語能力(聞く、話す、読む、書く)-を、総合的に向上させる。</p>	
<p>【テキスト】 ABC World News --テレビニュースで学ぶ英語(6)--</p> <p style="text-align: center;">金星堂 (1750円)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキスト、カセットテープと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語のリスニング能力及び読解力を向上させる。</p> <p>又、英語での質問に英語で答える事により、話す力をつける。</p> <p>更に、時間があれば、習得した表現を使用して文章を書く事も試みたい。</p> <p>ニュースを教材として扱うので、日ごろから新聞に目を通し、テレビのニュース番組を見る様に心掛けておくと、授業内容が頭に入って来やすくなる。</p> <p>既に知っているトピックであれば、外国語であっても、ずっと理解が容易になる。</p> <p>必ず予習をしてから授業に出席する事。</p> <p>この授業に関する予習とは、NEWS STORYの全般的な意味(何が話題となっているのか)を把握しておく事、EXERCISESを含め、解らない単語、熟語、表現等を辞書を使って調べておく事、又、調べても解らない個所を授業中に質問できる様に準備しておく事、等である。</p> <p>英語は「コミュニケーションの手段である」という事を常に忘れずに、授業中は、どんどん声を出し、積極的に授業に参加して頂きたい。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p>	
<p>【評価方法】</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
【授業目標】 リスニングとリーディングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。	
【テキスト】 Your Ear for English (金星堂)、Culture Riddles	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>基本的なリスニングの練習を行い、平明な英語で書かれた文章を読む。</p> <p>異国の文化的背景を知り、そこに描かれた問題が自国のものと実際に共通するものなのかどうか考察するだけでも、得るものは大きいと考えられる。たとえば、英語のロジックの展開の仕方を学べば、読み書きだけでなく聞き取りにも役立つことが理解されよう。また、平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。</p>	
【評価方法】 期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2

【担当者】 清野茂子

【開講期】 1 年 前期 ・後期

【授業目標】

我々が、現在直面し、挑戦を受けている様々の話題を英文で読み、それに対する自分自身の考えを、確認していく力を身につける。

【テキスト】

Science in Nature and Health Asahi Press; ¥ 1600.

【参考書】

授 業 計 画

20 unit からなる話題を、一年間通して読みます。授業を受ける前に本文は必ず読んで来ること。 また、ヒアリングの練習も少し入れる予定。

【評価方法】

出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今まで6年間もの間培ってきた英語の力も、実際には十分に使いこなせないと感じている学生が多いだろうと思う。そうしたもどかしさを少しでも解消してもらい、1年の終りには、英語への親近感が少しでも増してほしいと思っている。このクラスでは、リーディングを中心に、英語の基本的な技能の獲得と向上を目指したい。</p>	
<p>【テキスト】 1) リスニング用テキスト: Hit Song Listening 2) リーディング用テキスト: Speed Reading Adventures (Basic).....</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語と聞くと“アレルギー的拒否反応”を示す人もいる一方で、“日常会話ぐらいはこなしたいけど・・・”という思いを抱いている人も相当多いように思う。また、好きなポップスや映画を原語で味わいたいと思っている人もいるであろう。</p> <p>しかし会話も聞き取りも、やはり基本的な語法を無視できないのは当然であるし、ある程度の語彙や慣用語句の知識も必須である。そこでこのクラスでは、比較的平易な英文を読むことを通して、基本的な英語の技能を再確認し、また高めていきたいと思っている。さらに、サブ・テキストとしてリスニング用のテキストを使う予定である。</p> <p>*授業の進め方</p> <p>最初の30分程をリスニング練習に当てる。練習問題はその場で答え合わせをして、後で提出してもらおう。その後の時間をリーディングに当てる。音読の後、内容理解のための様々な問題に答えていく。演習問題の内のどれかを毎回必ず提出してもらい、リスニング演習と並んで、成績の重要部分とする。また、学期に2～3度の復習テストを行う予定である。</p> <p>リーディング部分については、十分な予習ができていることを前提にして授業を行うので、承知しておいて欲しい。学生と私と、共に作り上げていく授業なので、是非毎回の出席と積極的な授業参加をお願いしたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、復習テストの結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目名】 選択語学1-1, 2 (リーディング)	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 1. 英語を楽しく学ぶことを通して身につける 2. 英語を通して英米をはじめとした文化を学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 「MUSIC & SONG」(Tim Murphey:オックスフォード大学出版)	
授 業 計 画	
<p>前期後期とも英米人の文化を表現している英語の文や歌に焦点を当てて、その内容を読みとりながら語法や表現等についても学ぶ。音声面についても意味内容の表現にどのように関連しているかを分析してみたい。同時に現代社会や世界について同時代の人たちがどう考え、どう生きているかを学ぶ。</p> <p>なお英米以外でも英語の歌は存在しているので研究してみたい。</p>	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (オーラル)	【担当者】 スワン, W, ローレンス
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">ありません</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents <p>注：このクラスを取る学生は全部のクラスに出席すること。理由のいかんにかかわらず、欠席は認めない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 (オーラル)	【担当者】 森田真澄
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>	
<p>【テキスト】 .First Time Abroad--初めての海外旅行--</p> <p style="text-align: center;">成美堂</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語の基本的会話を習得する。</p> <p>英語は、「コミュニケーションの手段である」という事を、常に頭に置き、多少の文法的間違いは気にせずに、活発に声を出して頂きたい。</p> <p>辞書は授業中に使用して良いが、必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>この授業において予習とは、DIALOGの全般的な意味(何が話題となっているのか)を把握しておく事、わからない単語、熟語、表現等を辞書を使って調べておく事、</p> <p>又、調べても理解できない個所を授業中に質問できる様に準備しておく事、等である。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎週行なう小テスト----80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (オーラル)	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の中の「聞く」「話す」力を特に中心にして、基本的英語運用能力の養成を目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Screen Vocal Listening Kinseido... ¥ 1200</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>世界的にヒットした映画音楽15曲をもとにして hearing and pronunciation の練習をします。 毎時間の作業を重視しますので必ず出席すること。 また 具体的な日常レベルの会話の練習も入れる予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (リーディング)	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>速読を中心に hearing を加えて、基本的英語の運用能力の養成を目的とします。</p>	
<p>【テキスト】 Nature and the Environment Seibido... ¥ 1700</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>21世紀を目前にして 今、世界中で直面している環境問題について、一年を通して学び、その問題点を認識していきたいと思います。 授業に出席する前に必ず reading の文は読んでくること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (リーディング)	【担当者】 磯山 滯一
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>比較的短かくて平易な英語の物語、小説、伝記などを多読し、英文を読む楽しさを体験することで、読む力を伸ばしたり表現力を高める。また読みとった内容が人生を考える糧となるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期</p> <p>Chirtmas Present (O. Henry: retold)</p> <p>Tom as King (Mark Twin: retold)</p> <p>No Safe Was Safe (O. Henry: retold)</p> <p>Human Comedy (William Saroyan 一部)</p> <p>後期</p> <p>Little House in the Big Woods (Laura Ingalls Wilder 一部)</p> <p>Runaway Slave: The Story of Harriet Tubman (Ann McGovern)</p> <p>Told by the Schoolmaster (J. Gawlsworthy: retold)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 (リーディング)	【担当者】 東郷 裕
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p data-bbox="194 293 344 327">【授業目標】</p> <p data-bbox="304 371 1272 506">ある程度の長さの英文を精読し、内容を理解しながら読んでいく訓練をする。また同時に、短編小説のもつすばらしさと楽しさを味わえるようにしたい。</p>	
<p data-bbox="194 584 344 618">【テキスト】</p> <p data-bbox="344 640 1272 685">The Strawberry Season & Other Stories(莓の頃) (成美堂)</p>	
<p data-bbox="194 719 314 752">【参考書】</p>	
<p data-bbox="591 853 964 887">授 業 計 画</p>	
<p data-bbox="304 1043 1272 1279">基本的には訳読を中心とする。最初は時間をかけて文章を読んでいくが、徐々に読む速度を上げていき、最終的にはあまり時間をかけずに一遍を読むことができるようにしたい。また文法的な解釈および説明はできるだけ省き、必要最小限に留めておく。予習はあらかじめ指定する。</p>	
<p data-bbox="194 1928 344 1962">【評価方法】</p> <p data-bbox="371 1995 1056 2029">定期テストと日ごろの提出物によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－１、２独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
【授業目標】 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。	
【テキスト】 田中安行他著「ドイツへ行こう」三修社、1998年 ドイツ語辞典については開講時に説明する。	
【参考書】	
授 業 計 画	
1. 音声訓練――ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現――教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話――会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解――ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解――ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解――辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめ、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 [授業方法] 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気の中で充実した学習ができるようにする。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で行う。	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－1、2 独語	【担当者】 川口眞理
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語の日常表現を理解し、また自分で言えるようにするためにはドイツ語の基本的なしくみを知ることが大切です。</p> <p>川口のクラスでは文法の基礎をゆっくりと学んでいきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『ドイツへ行こう』（Nach Deutschland） 田中安行著 三修社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期：文字と発音の関係、動詞の人称変化、名詞・代名詞の格変化 語順、数詞。</p> <p>後期：定冠詞類・不定冠詞類、前置詞、話法の助動詞、分離動詞 zu不定詞 他。</p> <p>語学はとにかく慣れること、身につけることが大切です。 予習をする必要はありませんが、授業でやった表現、語彙は確実に身につけていくよう努力してください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、小テスト、期末試験の結果を総合的に判断します。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>新しい言語としてのフランス語の発音や文法をきちんと学び、同時に、フランス語を通して、フランスの文化や歴史を楽しく学んでいきましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「モン フランセ」：数藤 ゆきえ、酒井 由紀代著：駿河台出版社</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>《Bienvenue en France》：ビデオ教材</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>月曜日 1 時限：文法の教科書をもとに、フランス語の発音、文法を練習習得していきます。</p> <p>月曜日 3 時限：ビデオ教材を使って、目から、耳からフランス語に親しみ、楽しく学んでいきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期に期末試験によって、評価します。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ 海外語学研修

【担当者】 中島好伸

【開講期】 1年夏期集中（前期5回の事前指導を含む）

【授業目標】

イギリス、リーズ市に3週間ホームステイし、メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加しながら、日常生活の英語に慣れ、積極的にネイティブ・スピーカーとコミュニケーションできるようにする。また、イギリスの文化に直接慣れ親しむ。

【テキスト・参考書】

事前指導にて指示します。

授 業 計 画

この科目は、保育科、福祉援助学科の総合英語2単位、心理学科、教養科の選択語学Ⅰの2単位の振り返ることができます。

前期に5回（その他出発直前に1回）、渡航すべてに関わる事前指導を行います。

- ・パスポートの取得
 - ・渡航手続き
 - ・イギリスの文化的知識の習得、現地生活に関するアドバイス
 - ・基本的な英会話
- （事前指導等の連絡は教務掲示板を注意してみることに）

英国リーズ市でホームステイし、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに3週間参加します。現地の授業は、ネイティブ・スピーカーによる小人数クラスで行われます。

- ・期間8月5日～8月30日（予定は変更になることもあります）

8/5 成田出発→ロンドン・ヒースロー着 ロンドン泊
8/6 ロンドン市内観光 ロンドン泊
8/7 ロンドン→リーズへ移動 ホームステイ開始
8/9～8/26語学研修
8/27 リーズ→ロンドンへ移動 ロンドン泊
8/28 ロンドン市内観光 ロンドン泊
8/29 ロンドン・ヒースロー→ 8/30 成田着

帰国後、反省会を行います。

【評価方法】

事前指導、語学研修の参加（修了証獲得）と帰国後のレポートにて評価

【授業科目】 スポーツA (バドミントン)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>技能練習とゲーム</p> <p>【バドミントン】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 3、サービスの練習 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席重視）とゲーム中に採点</p>	

【授業科目名】 スポーツA テニス	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 * 練習の仕方、試合の仕方、観戦の仕方などを、 段階的に技術を学んでいくなかで、習得すること * 自分たちだけで試合ができるようになること	
【テキスト・参考書】 <p style="text-align: center;">特に指定しない</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">自分たちだけで試合ができるように、以下の順で進行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスでのゲーム 4. タイブ레이크形式でのゲーム <p style="text-align: center;">以下の技術についての基礎練習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボレー 2. ストローク 3. サーヴィス 	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">・ 技術、態度、知識（小テスト）を評価する。</p>	

【授業科目名】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 村田 務												
【開講期】 1年 後期													
<p>【授業目標】</p> <p>バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動の習慣化をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的技能及び集団的技能 ・ 技能の程度に応じた練習法 ・ 審判法及び指導法 													
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 西川順之助 : バレーボール、成美堂、1995年。 斉藤秀明監修: バレーボールルールブック、有紀書房、1995年。</p>													
授 業 計 画													
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボールが続けられるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざしたい。</p> <p><u>学習内容</u></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">① 個人的技能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">② 集団的技能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">③ 指導技術</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 </td> </tr> </table> <p><u>授業の流れ</u></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">① 全体活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題の解決 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">② グループ活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">③ ゲーム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得 </td> </tr> </table>		① 個人的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング 	② 集団的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり 	③ 指導技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 	① 全体活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題の解決 	② グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得 	③ ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得
① 個人的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング 												
② 集団的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり 												
③ 指導技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法 												
① 全体活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通課題の解決 												
② グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得 												
③ ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得 												
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（平常点、実技等）</p>													

【授業科目】 スポーツA (ダンス)	【担当者】 松村朋子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>エアロビクスダンスをアレンジしたコンビネーションの習得で、まずはダンスに親しむ。そして、用具を使わず、自分のからだだけで運動でき、更に、芸術的センスを磨くことのできるダンスを通じて、楽しみながら美しい身体をつくり、運動機能を高めることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>使用しない</p>	
授 業 計 画	
<p>1. ストレッチ 身体全体を使って、自由に動けるように柔軟性を高める。 普段はあまり使わない筋肉を意識的に動かし、気持ちもダンスへ切り替える。</p> <p>2. コンビネーション サイドステップ、スキップ、走る、ジャンプなど簡単な動作を組み合わせた短いコンビネーションを習得する。 短いコンビネーションのいくつかを繋げて踊ってみる。</p> <p>3. ダンスプログラムの習得 コンビネーションを組み合わせ構成されたプログラムの振付けを覚える。 二人組やグループでフォーメーションを考えて、変化をつけてみる。</p> <p>4. ダンスプログラムの作成 今まで学んだ基本的なステップをどこかに使って、短いプログラムを創る。 全員で同じように踊るところと一人ひとりが動くところ、速い動きとゆっくりの動き、など変化に富んだ流れとなるように、グループで振付け・構成を考えて、発表する。</p> <p>*運動可能な服装・シューズで授業に出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と授業態度を特に重視する。実技テストを行う予定。</p>	

【授業科目名】 スポーツB (キャンプ)	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 前期 (集中)	
【授業目標】 自然環境の中での集団活動を通して、健康的な生活を営むための能力と態度を養う。 ・ 野外活動に必要な知識と技能及び判断能力 ・ 健康的な「こころ」と「からだ」 ・ 自然を親しみ愛好する態度と野外活動への参加意欲	
【テキスト・参考書】 参考書 横山正幸、森本精造：教育キャンプ入門、北大路書房、1993年。 清水ケンゾー：楽しいアウトドア・ライフ、日東書院、1995年。 小菅知三：キャンプ大全集、成美堂、1990年。	
授 業 計 画	
<p>生活の場から自然が失われ、自然との共存が課題となってきた今日、自然を活用した野外活動は、健康の増進やレクリエーションとしての効果が極めて大きい。しかし、野外での活動は、さまざまな自然的環境の影響を受けやすく、事故災害にもつながりやすい特性をもっている。</p> <p>そこで、この授業では、特に、自然環境にふれ合うことの楽しさや喜びを十分に体験するとともに、野外活動における適切な判断能力や将来に向けての意欲が得られるように留意して計画、実施する。</p> <p>1、日 程 1996年 6月下旬、7月下旬 事前活動 (学内) 8月4日(水)～ 8月7日(土) キャンプ実習 (現地) 8月8日(日) 事後活動 (学内)</p> <p>2、場 所 学内及び「山のふるさと村キャンプ場」 (東京都奥多摩町)</p> <p>3、参加者 学生24名、教員3名</p> <p>4、内 容 ①事前活動：運営組織・装備・食事等の計画・準備 ②キャンプ実習 第1日目：テント設営、水遊び、食事 第2日目：登山 (ハイキング)、食事 第3日目：ネイチャートレイル、木工、キャンプファイアー、食事 第4日目：食事、テント撤収 ③事後活動：装備の点検・補修、反省評価</p> <p>5、費 用 約10,000円 (食料費、交通費等)</p>	
【評価方法】 平常試験 (レポート、実技等)	

【授業科目】 健康科学	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 <p>現代社会における健康問題について幅広い知識を身につけ、氾濫する健康情報、流行に対して真偽を的確に判断する能力、それを活かすことのできる応用力を備えられるようにする。</p>	
【テキスト】 <p>未定</p>	
【参考書】 <p>参考図書、文献等は講義のなかで紹介していく。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1.あなたの両親は大丈夫？（そういうあなたにも...） －成人病の予防と対策－ 2.薬をじょうずに使いましょう。 －薬の有効な利用法、問題点－ 3.スマートな健康美人になろう！ －ダイエットの方法、問題点－ 4.楽しい海外旅行をするために（「何とかなるさ」じゃ..）。 －海外での健康問題、安全対策－ 5.他人事？エイズや性病について考えよう。 －性感染症の現状と予防－ 6.人が苦しんでいます...その時、あなたは何ができますか？ －応急処置法－ 7.運動は健康にいいの？ －運動の問題点、障害、活用法－ 8.世の中が変われば病気も変わります。 －現代病、新しい健康問題－ <p style="text-align: right;">（順不同）</p>	
【評価方法】 <p>小レポート（不定期）と試験</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを見て楽しめるようになること、 　　スポーツを試してみたいくなること ・ スポーツを社会現象として、批判的に見る眼を養うこと 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>ABRA MOOK「スポーツ学のみかた」朝日新聞社</p> <p>日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなトピックを扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツと科学：スポーツ科学の全体像 2. ジャンプ競技と揚抗比 3. ポブスレーとクロストレーニング 4. スポーツの技術・道具の変化と科学 5. 滑降競技と乳酸 6. 滑降競技と環境問題 7. ドーピング問題と日常生活 8. スポーツとアイデンティティ：ラクロス、カーリング 9. スポーツとルール 10. スポーツと遊び 11. スポーツ解説と分析 	
<p>【評価方法】</p> <p>各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。</p>	

專門教育科目（1年）

【授業科目名】 発達心理学 I	【担当者】 神田信彦
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 心の発達のプロセス及びその研究方法を学ぶ。	
【テキスト】	
【参考書】 参考書：金子・神田・倉澤 著 「最後まで読める心理学」 ブレーン出版	
授 業 計 画	
<p>前半では、乳児期から青年期前期までの心理的諸側面の発達について講義する。後半では、認知、言語、思考や社会性の発達などの領域ごとに発達のプロセスを講義する。講義予定は概ね以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは 2. 乳児期の心理的発達(2回) 3. 幼児期の心理的発達(2回) 4. 学童期の心理的発達(2回) 5. 青年期前期の心理的発達 6. 認知の発達 7. 言語と思考の発達 8. 情動の発達 9. 対人関係の発達 	
【評価方法】 試験と小レポート。出席重視。	

【授業科目】 知覚心理学	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。	
【テキスト】 「最後まで読める心理学」 ブレーン出版 著者：金子尚弘・神田信彦・倉澤寿之	
【参考書】 授業の進行に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」 知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。 2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」 私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。 3、感覚器官と感覚刺激の話――視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」 我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。 4、色の知覚、ビデオ「Colour」 色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。 5、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚 視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。 6、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」 錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。 7、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」 さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。 8、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」 我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。 9、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」 私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。 10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚 音の知覚や、音源定位を実際に体験する。 11、味と匂いの知覚、時間の知覚 味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。 12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度 知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。 <p>その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術―初めて見る世界―」</p>	
【評価方法】 学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。	

【授業科目名】	学習心理学 I	【担当者】 荻野七重
【開講期】	1 年前期	
【授業目標】	<p>人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、行動分析の手法でもある条件付けについて理解することを主な目的とする。</p>	
【テキスト・参考書】	<p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 （サイエンス社）</p>	
授 業 計 画		
<p>1. 学習とはなにか</p> <p>2. 古典的条件づけ</p> <p>始めに I. P. パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づけについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活に見られる事例を通して、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験によって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。</p> <p>テキスト 1 章</p> <p>3. オペラント条件づけ</p> <p>B. F. スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨床場面に応用されるかを示す。</p> <p>テキスト 2 章</p> <p>4. 社会的学習</p> <p>自分自身の直接的体験によってではなく、他人の体験や経験を見聞きすることで起こる学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。</p> <p>テキスト 4 章</p>		
【評価方法】	定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目名】	学習心理学Ⅱ	【担当者】	荻野七重
【開講期】	1年後期		
【授業目標】	<p>思考および記憶に関する多くの実験的研究を通して明らかにされた事実や理論を紹介する。思考については、特にことば、概念の獲得、推理の発達的变化の過程を見ていく。また、記憶については、記憶の過程、記銘する材料、時間的要因、個人の持っている知識等と記憶の関係等を考える。</p>		
【テキスト・参考書】	<p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 (サイエンス社)</p>		
授 業 計 画			
<p>1. 問題解決と推理 問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達と推理 (J. P. ピアジェ) 演繹的推理と機能的推理 創造性 (集中的思考と分散的思考) テキスト 5章</p> <p>2. 概念過程と言語の獲得 概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考 テキスト 6章</p> <p>3. 記憶と忘却 記憶とは何か 記憶の研究法 (記銘材料と測定法) 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術 テキスト 7章</p> <p>4. 有意味材料の記憶 エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容 テキスト 8章</p>			
【評価方法】	<p>定期試験にペーパーテストを行う。</p>		

【授業科目】 臨床心理学	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「臨床心理学とは何か？」， 「臨床心理学の分野では何を研究しているのか？」， 「臨床心理学での研究はどのような貢献をしているか？」， などをキーワードにし，臨床心理学を概観する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 小川俊樹（編著） 臨書心理学入門 ブレーン出版</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は大まかに次のような順に進められる予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 臨床心理学の歴史とその成り立ち 2) 臨床心理士の役割とその対象 3) 臨床心理学の基礎理論とその治療論及び技法 4) 臨床心理学的診断の方法；心理検査と心理面接 5) 臨床心理学の現状：各現場での臨床心理士の活動状況 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験</p>	

【授業科目名】 生理心理学	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心を成立させる脳の働きを理解するために、基本的な神経系の構造と働きについて学習する。神経系で生じる物質的・構造的変化が私たちの行動とどのように結びつくのか、心にどのような影響をもたらすのか、といった視点から生理学的研究成果を理解する。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】</p> <p>二木宏明, 『脳と心理学』, 朝倉書店, 1984 森 昭胤, 『脳 100 の新知識』, 講談社, 1991 時実利彦, 『脳の話』, 岩波新書 (青版), 1962</p>	
授 業 計 画	
<p>まず神経系の分類と構造に関する知識を習得する。次に、神経細胞の発達的变化、神経細胞同士の情報伝達方法、環境刺激の知覚と反応、記憶に関係する構造的変化、代表的な脳内中枢機能、といったトピックスを取り上げる。さらに、神経細胞間の情報伝達に必要な物質的基盤を学び、心の病に対する生物学的アプローチおよび心に作用する薬物に関する基礎的な理解を得る。</p> <p>以下の項目に従って講義を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の座をもとめて [心身二元論, 骨相学, 機能局在論, 神経回路] 2. 中枢神経系の分類と構造 [脊髄, 脳幹, 小脳, 間脳, 基底核, 辺縁系, 大脳皮質] 3. 末梢神経系の分類と構造 [脊髄神経, 脳神経, 体性神経系, 自律神経系] 4. 神経系を作り上げるもの [ニューロン, シナプス, グリア細胞, インパルス] 5. インパルスの伝導とシナプス伝達 [閾値, 跳躍伝導, シナプス後電位, 伝達物質, イオン・チャネル, 促進と抑制] 6. 反射中枢 [脊髄, 脳幹] 7. 脳の機能地図 [感覚野, 運動野, 聴覚野, 視覚野] 8. 脳の高次機能 [失認, 失行, 失語, 分割脳, 健忘, 連合野の機能] 9. 神経系に働く物質 [向精神薬, 薬物中毒] 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中の課題提出および定期試験</p>	

【授業科目】 基礎技法演習	【担当者】 小林 玄
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>①科学レポートのまとめ方 ②考察力の向上。</p> <p>以上2点の修得を目標として進めていきます。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 授業の中で適宜紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>心理学の研究を進めていく上で、研究の内容をレポートや論文にまとめることは欠かせないことです。</p> <p>本演習では、科学レポートのまとめ方の基礎を学び、実際の課題を通してレポートを作成することに慣れていただきます。</p> <p>また、併せて研究内容、研究結果の考察の深め方、参考文献の集め方、などにも言及していきたいと考えます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中の小レポート及び学期末のレポートで評価します。</p> <p>出席も重視します。</p>	

【授業科目名】 心理学演習 I	【担当者】 荻野、金子、神田、多喜乃、倉沢、金、中丸、高橋
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量化や図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「実験演習の手引き」と、各実験毎に実験方法とデータ整理方法などをまとめたプリント配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>15～16人のグループに別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。実験は担当教員から実験の目的、方法について説明を受けた後、互いに実験者と被験者となって実験を行いデータを集める。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の実験の前日までに各自レポートを書き、提出する。</p> <p>実験は、1回の授業枠で終了する比較的簡単なもの（実験A）と、条件設定がやや複雑になったり、データの量が大きくなったりするため2週にわたって行われるもの（実験B）から構成され、実験の順序はグループによって異なる。</p> <p>導入実験：ミューラー・リャーの錯視 実験A：鏡映描写 大きさの恒常 色名呼称 情報の伝達と変容 実験B：反応時間 要求水準</p> <p>全体の予定は以下の通り。但し、順序の多少の変更があり得る。</p> <p>第 1回 オリエンテーション（実験時の注意、レポートの書き方等） 第 2回 導入実験 第 3回 実験A-1 第 4回 実験A-2 第 5回 実験A-1のレポートの講評 第 6回 実験A-3 第 7回 実験A-4 第 8回 実験B-1（第1週） 第 9回 実験B-1（第2週） 第10回 実験B-2（第1週） 第11回 実験B-2（第2週） 第12回 実験B-1のレポートの講評</p>	
<p>【評価方法】 実験のレポートの評価による。</p>	

【授業科目名】 心理学演習Ⅱ

【担当者】 荻野、金子、神田、多喜乃、倉沢、金、中丸、高橋

【開講期】 1年後期

【授業目標】

演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、動物実験のほか、実験室に限定されない場面での調査や心理テストなども行う。調査では、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法、心理テストではその実施方法と判定・診断法等を学習する。また、動物の実験経験し、人以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。

【テキスト・参考書】

各実験毎に実験方法、データの処理方法、実験結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。

授 業 計 画

実験演習Ⅰと同様、15～16人のグループに別れて行う。実験Ⅰと異なり、4つの主要な実験（調査等を含む）は2週を単位として行われる。ほかに1週間単位の心理テストが2種類入る。実験Ⅰと異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2年生の卒業研究発表会に参加し、感想文を書き、提出しなければならない。

実験／調査：オペラント条件づけ 項目分析 SD法 ソシオメトリー
心理テスト：YG性格検査 内田クレペリン精神検査

全体の予定は以下の通り。

- 第 1回 オリエンテーション（演習Ⅱで求められる内容について）
- 第 2回 実験／調査1（第1週）
- 第 3回 実験／調査1（第2週）
- 第 4回 心理テスト1
- 第 5回 実験／調査1のレポートの講評
- 第 6回 実験／調査2（第1週）
- 第 7回 実験／調査2（第2週）
- 第 8回 実験／調査3（第1週）
- 第 9回 実験／調査3（第2週）
- 第10回 実験／調査4（第1週）
- 第11回 実験／調査4（第2週）
- 第12回 心理テスト2
- 第13回（卒業研究発表会）

【評価方法】 実験／調査のレポートおよび、心理テストのレポートの評価による。

【授業科目名】 心理学総合演習	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 心理学の英文になれることが主な目的です。 あわせて、英字の専門用語について、理解します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 copyを用意します。</p>	
授 業 計 画	
<p>Intelligence What is intelligence? Is there a general factor of intelligence? How is intelligence measured? What is an IQ? How are IQ scores distributed in the person? Is there a genetic basis for intelligence? Are IQ tests reliable? Are IQ tests valid? Do IQ tests measure creativity? Are IQ tests fair to all cultural groups? Do the faults of IQ tests outweigh their usefulness?</p> <p>Australiaの高校生向きのテキストのcopyを使います。 逐語訳が中心です。必ず予習をしてきて下さい。また英和辞書は必ず持参して下さい。</p>	
<p>【評価方法】 平常点</p>	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 心理学の研究論文の読解能力を養う	
【テキスト】	
----- 【参考書】 資料を配布する	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">調査法，実験法，行動観察法，文献研究法などの方法別の心理学関連研究論文を取り上げ，それを呼び討論していく中で，研究論文の読解能力を養うと同時に，研究方法別の論文の書き方や論の進め方などの論文の執筆上のHow Toを身につける。</p> <p style="text-align: center;">まずは，履修者全員で上記の作業を行った後，履修者の各自が興味のあるテーマの論文をレポートするやり方で授業を進める予定である。</p>	
【評価方法】 授業への参加態度と個人テーマのレポート報告	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 高橋浩子
【開講期】 1 年、後期	
【授業目標】 1 心理学の基礎知識の習得 2 女性のライフサイクルにおける危機とそのサインとして現われる様々な症状について 3 女性を取り巻く環境についての考察を行なう	
【テキスト】 女性のためのライフサイクル心理学 岡本祐子・松下美智子編 福村出版 その他、資料を準備します。	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>授業では、主に女性のライフサイクル上の課題と臨床的に生じやすい問題を扱います。具体的な症例を扱いながら、臨床的なアプローチの方法と、女性を取り巻く環境とその問題点について学びます。学生の皆さんは、自分自身の問題や、生活、家族について、考えるきっかけを得る事とおもいます。意見交換・討論への積極的参加を期待します。</p> <p>授業でとりあげる内容 幼児期 女の子として生まれること 幼児期の問題 母親と子供の関係 児童期 性別の認知と受容 学校生活 友人関係 家族 思春期 体と心の変化 他者との出会い 反抗期の問題 家族との関わり 青年期 自分らしい生き方を求めて 若い成人期 仕事 結婚 母親になること 若い夫婦の抱える問題 中年期 心身の変化とアイデンティティー危機 老年期 老化と病気のちがい 役割の変化</p>	
【評価方法】 平常点 レポート	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 池田善英
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 <p>①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。</p> <p>②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。</p>	
【テキスト】 川上 和久 著 「情報操作のトリック」(講談社現代新書)	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>悪意を持った団体に引き込まれたり、マス・メディアの情報に踊らされたり、することがあります。私達はどのようにして、間違っただ情報を信じてしまうのでしょうか。また間違っただ情報から身を守るためには、どのようにしたらよいのでしょうか。このような問題についてテキストでは、社会心理学の立場から検討しています。</p> <p>学生の皆さんはテキストに書いてあることを、身近な経験と照らし合わせながら読んで下さい。その内容で納得のいくこともあるでしょう。しかし鵜呑みにしてはいけません。「ちょっと違うな」と感じることを探し、どこがどう違うのかを明らかにするよう考えてみて下さい。</p> <p>テキストを読み進めるに当たって、まず始めは全員で輪読していきます。受講生の皆さんがある程度慣れたところで、分担しながらレジメに基づいて報告してもらうようにします。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって、分かりやすく説明して下さい。</p> <p>なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。一方で必要に応じて、別の資料も紹介したいと思います。テキストの構成は、以下の通りです。</p> <p style="margin-left: 40px;">第一章 情報を操作する、情報で操作する</p> <p style="margin-left: 40px;">第二章 情報操作の歴史</p> <p style="margin-left: 40px;">第三章 政治と情報操作</p> <p style="margin-left: 40px;">第四章 日常生活に忍び寄る情報操作</p> <p style="margin-left: 40px;">第五章 経済情報の操作</p>	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">①レポート ②平常点</p>	

【授業科目名】 心理統計 I	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1 年前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。 記述統計学の習得。電卓の有効な操作と、統計値の求め方の習得。	
【テキスト・参考書】 心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社)	
授 業 計 画	
<p>1 章 統計法と測定値</p> <p>2 章 度数分布と統計図表</p> <p>3 章 中心傾向の測度</p> <p>4 章 得点の散布度</p> <p>5 章 正規分布と相対的位置</p> <p>6 章 直線相関と直線回帰</p> <p>授業では電卓を用いる。使用する電卓は、数値を入力することによって簡単な統計値を算出することのできる機能を持ったものであり、機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに、指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。 電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。また、試験の際にも使うことができる。</p>	
【評価方法】 2～3 回の中間テストと定期試験の結果で評価する。 テストには テキスト、ノートおよび電卓を持ち込むことができる。	

【授業科目名】 心理統計Ⅰ	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。特にこの授業では、記述統計学の習得に重点を置くとともに、電卓の使用法も併せて習得する。	
【テキスト】 授業で使用する電卓の機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は他の授業でも頻繁に用いる。	
【参考書】 「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内 光哉著 サイエンス社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について 統計計算機の使い方 2、統計法と測定値 さまざまな変数、測定操作、加算記号とその規則 3、度数分布と統計図表 量的変数における級間の幅と級間数の決め方 質的変数の度数分布 4、度数分布図と統計図表の書き方 質的変数の図示法、量的変数の図示法、統計図表の書き方、見方 5、中心傾向の測度 測度とは――平均値、中央値、最頻値 測度の比較、調和平均 6、得点の散布度 散布図の概念、四分領域、分散と標準偏差 質的データの散布度 7、正規分布と相対的位置 正規分布、標準正規分布、z値、パーセンタイル点 8、直線相関と直線回帰 2変数の相関と回帰 相関係数と決定係数 相関と予測、回帰と推定 	
【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。参考書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「心理と教育のための統計法」 山内光哉 （サイエンス社）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合</p> <p>（11章 より複雑な分散分析 要因計画）</p> <p>12章 カイ2乗検定</p> <p>（13章 順位による統計法）</p> <p>（14章 ピアソンの r の検定と種々な相関係数）</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行う。従って11、13、14章は授業の進行に応じて行う。</p>	
<p>【評価方法】 2～3回の中間テストと定期試験の結果で評価する。</p> <p>テストには テキスト、ノートおよび電卓を持ち込むことができる。</p>	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方や、使い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。	
【テキスト】	
【参考書】 「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内 光哉著 サイエンス社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。 2、母集団と標本 母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量標準誤差－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること 3、統計的仮説の検定と区間推定 統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性 母分散がわかっている場合の仮説検定 母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か 平均値の区間推定－母集団の平均値はどれくらいか 4、2つの平均値の差の検定と区間推定 独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 5、分散分析入門－1要因の場合 分散分析における仮定 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合） 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合） 6、より複雑な分散分析－要因計画 要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈 7、カイ2乗検定 カイ2乗を用いたさまざまな検定 独立性の検定－生まれ順は政治的態度と関係があるか 比率の等質性の検定－2つの集団の年齢分布は等しいか 	
【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。参考書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。	

【授業科目】 情報処理 I	【担当者】 森田信一
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現在、どのような分野でも情報処理の基礎的な知識・技術が必用とされている。この情報処理 I では、インターネットを利用した電子メールが活用できること、ワードプロセッサを利用した文章表現が自由にできることをねらいとする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>大学のコンピュータシステムは、ネットワークで接続されており、インターネットへも接続されている。資料配布や課題提出などにもネットワークを使うことになるので、まずネットワークが自由に使えるようになることが必要である。そして次に、ワードプロセッサを使った文章表現の技術を身につけるといふふうに授業を進めていく。</p> <p>コンピュータシステムの利用方法 ネットワークの利用方法 ネットワークへのログオン 取り扱い説明ファイルや教材ファイルの扱い 課題提出の方法 電子メールの使い方 インターネットの利用方法とマナー ワードプロセッサを使った文章表現 基本的な文書作成 作表と図形描画 ビジュアルな文書作成 段組みとインデントのある文書</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎時間の提出および出席によって評価する</p>	

【授業科目】 情報処理Ⅰ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 電子メール、インターネットによる情報検索の実習を通して、ネットワークを利用し情報収集する技術を学ぶ。また、ワープロソフトを使っての文書の作成・編集を通して情報をわかりやすく表現する技術を学ぶ。	
【テキスト】 インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを使い始めるにあたっての説明 コンピュータの各部分の名称，使い方，フロッピーディスクについての説明，ログオンとログオフ，IDとパスワード。 2. 文字の入力 漢字変換，カタカナ，アルファベットの入力の仕方。 簡単な文章の入力。 3. ネットワークの活用 WWWによる情報検索、電子メールの利用 4. ワープロソフトの利用 文字の挿入，削除，複写，移動。 文書保存，呼び出し。 印刷の仕方，印刷スタイルの設定。 文字サイズ，文字飾りなど。 5. ビジネス文書の作成 ビジネス文書の形式。 6. ビジュアルな文書の作成 文書中への図の取り込み。 	
【評価方法】 出席，授業中におこなう課題。	

【授業科目】 情報処理Ⅱ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 表計算ソフトを使った実習により，データを表に整理し，処理，グラフ化することで，数値データをわかりやすく表現する．データベース機能を使い，収集したデータを有効に活用することを学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】 インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説，基本的な操作，データ入力の仕方。 2. データ入力 数値データの入力，計算（算術関数など），罫線，セルの形式。 ワークシートの保存，呼び出し。 印刷。 3. グラフ作成 グラフの表示，グラフの種類，グラフの編集。 グラフの印刷。 4. データ処理 統計関数。 t検定，相関係数の計算。 5. データベース作成 データベースの説明。 データの入力。 データの並べ換え，データの抽出。 6. ワードプロ文書への貼り付け 	
<p>【評価方法】 出席，および授業中におこなう課題。</p>	

司書科目（1年）

【授業科目】 生涯学習概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1 年 後期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>現代の日本の学校教育では、受験競争、いじめ、などさまざまな問題が生じている。それらは改めて「教育とは何か?」「学校とは?」「教師のあり方は?」という根本的な問いを投げかけている。多くの国民が学校体験を有する現在、これらの問いに対する答えもさまざまな立場から論じられている。だがそれらは、必ずしも教育的なものの見方、考え方にもとづいたものではなく、ときには教育的であることそのものへの懐疑を表明している場合もある。</p> <p>こうした状況をふまえ、この講義では、現代的な問題を取りあげながら、教育的なものの見方、考え方の基礎を学ぶことにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に使用しない。</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>村山士郎『いじめの世界が見えてきた』大月書店/E・フロム『人生と愛』紀ノ国屋書店 J・J・ルソー『エミール』岩波文庫など。その他、随時時間内に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>具体的な教育問題として「いじめ」の問題を取りあげ、また、教育的な考え方の一例として、J・J・ルソーの生涯と教育論『エミール』の紹介をおこない、近代教育思想の原点をたずねたい。</p> <p>講義の大要は、以下の内容などを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の教育と「いじめ」 2. 社会制度と人間の心理 3. 近代教育思想の原点をたずねて <p>講義形式の授業であるが、できるだけ学生のみなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

【授業科目】図書館概論	【担当者】大島 薫
【開講期】1年前期	
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の役割と種類について基本的知識を学ぶ ・ 図書館の現状と歴史、将来の課題を理解する ・ 図書館政策・行政など社会との関連を理解する 	
【テキスト・参考書】 テキスト：「生活のなかの図書館」 関口礼子 編著 学文社 1992年 参考書：「図書館学基礎資料」 今まど子、中村初雄 編著 樹村房 1990年	
授業計画	
<p>図書館の意義</p> <p>図書館の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館のサービス ・ 図書館の資料と組織化 ・ 図書館の施設 <p>図書館の種類と現状</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国立図書館 2. 公共図書館 3. 大学図書館 4. 学校図書館 5. 専門図書館 6. 類縁機関 <p>図書館の組織と運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館政策・行政・法令 ・ 図書館職員 ・ 図書館の評価 <p>図書館とその他の図書館や機関との関係</p> <p>図書館の自由</p> <p>これからの図書館</p>	
【評価方法】 平常点・レポート提出	

【授業科目】 図書館経営論	【担当者】 西村汎子
【開講期】 1 年 後期（後半）	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>『図書館・情報センターの経営』（けい草書房 情報学シリーズ4）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ (2) 行政およびその他の部局との関係 (3) 図書館の管理と運営 (4) 図書館長と館員の役割・関係と研修 (5) 図書館サービス計画の意義と方法—調査・広報の発行をふくむ (6) 図書館の整備計画と設備 (7) 図書館の業務およびサービスの評価 (8) 情報ネットワーク形成の意義 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と情報検索の基礎を学びます。コンピュータを使っての情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「インターネット時代の情報処理テキスト」樹村房(情報機器論と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 2. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 ネットワーク上での実技試験を行います。	

【授業科目】 図書館資料論	【担当者】 椎葉倅子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>利用者に資料・情報を提供するの図書館の重要なサービスの一つである。そのサービスを支えている図書館資料全般について学ぶ。そして関連する出版流通、法規などにも言及する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>図書館資料論（新・図書館学シリーズ7）平野英俊他著 樹村房</p> <hr/> <p>【参考書】 新図書館資料論（現代図書館学講座2）河井弘志編著 東京書籍</p> <p>図書館資料論（JLA図書館学テキストシリーズ7）馬場俊明編著 JLA</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館資料とはなにか</p> <p>図書館資料の種類と特徴</p> <p>印刷資料 : 図書、逐次刊行物、その他</p> <p>非印刷資料: マイクロ資料、映像資料、その他</p> <p>コレクション構築</p> <p>資料選択</p> <p>資料収集</p> <p>コレクション評価・再編</p> <p>図書館資料の収集等をめぐる問題</p> <p>出版流通</p> <p>関連法規</p> <p>図書館協力</p> <p>収集・提供と図書館の自由</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート提出、平常点</p>	

【授業科目】 資料組織概説	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館が収集・蓄積した資料を、利用者が自在に利用出来るような方策を学ぶ。即ち、目録法、主題目録法、分類法などである。情報化時代を迎えた現在、図書館にもコンピュータが導入されて、組織法も影響を受けている状況にも言及する。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織概説（新・図書館学シリーズ9）大城善盛ほか著 樹村房</p>	
<p>【参考書】 日本目録規則 1987年版 改訂版、日本十進分類法 第9版、基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版（図書館、教養科資料室所蔵）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館の所蔵する豊富な図書館資料――一例を本にとれば、どのように書架に本を並べれば利用しやすいか。また著者や書名が分かっている本が図書館に所蔵しているか、〇〇についての本にはどんなものがあるか、を調べるには目録による。――を利用者に提供するための方策を学ぶ。具体的には以下の事項である。</p> <p>資料組織の意義・機能</p> <p>目録法：日本目録規則 1987年版を中心に</p> <p>主題コントロール</p> <p>分類法：日本十進分類法を中心に</p> <p>件名目録法：基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版 を中心に</p> <p>その他：シソーラスなど</p> <p>書誌データベース</p> <p>書誌ユーティリティー、標準化など</p> <p>（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・テスト・レポート提出</p>	

【授業科目】 資料組織演習	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>資料組織概論と関連づけて各論が理解できるように演習する。具体的には、図書の組織化――目録、分類、主題分析――を行う。また、外部の書誌データを使う際の問題も考える。そして図書館内での目録利用について利用者にサービス出来るようにする。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織演習（新・図書館学シリーズ10） 岡田靖他著 樹村房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>目録：記入作成、カード・データ形式により基本的書誌データを学ぶ。 日本目録規則1987年版 改定版による。</p> <p>分類：日本十進分類法第9版による。</p> <p>件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目をあたえる。 以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する。</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p> <p style="text-align: center;">（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">課題提出及び出席平常点</p>	

【授業科目】 児童サービス論

【担当者】 東 喜望

【開講期】 集中

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤をなす最も重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍をどのように読ませていけばよいかという問題を精神文化の側面から考察する。時間僅少(1単位)につき、館内のサービス・テクニックについては、一切ふれない。

【テキスト】 講義資料を画配布する。

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義概要

1. 人間の言語活動
2. 「読む」ことの意義
3. 少年少女期の特性と読書傾向
4. 児童図書としての良書とは何か。
5. 読書指導と選書の方法
6. 児童図書の実状(実態調査を含む)

【評価方法】 筆記試験

【授業科目】 図書及び図書館史	【担当者】 西村汎子
【開講期】 1 年 後期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣） 石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人々が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。</p> <p>第1章 日本一近代以前の図書と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙の移入と書写の始まり (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生 (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立 (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり <p>第2章 日本一近代以後の情報化の発達と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代図書館の発生一公立図書館の二つの道 (2) 日本資本主義の発達と図書館一公立図書館の定着 (3) 大正デモクラシーと図書館一臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館 (4) 軍国主義体制下の図書館一思想言論の抑圧・戦争の被害 (5) 敗戦後の図書館一図書館の自由に関する宣言の採択 (6) 民衆のための図書館へ一日野図書館のスタート・自治体行政の前進 (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「インターネット時代の情報処理テキスト」樹村房(情報検索演習と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組み ・電子メールによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 3. コミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセッサの編集機能の活用 ・情報の保存と活用 ・思考ツールとしてのワードプロセッサの活用 ・プレゼンテーションツールの活用 	
【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出してもらいます。	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 森田眞澄
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語能力(聞く、話す、読む、書く)を、総合的に向上させる。</p>	
<p>【テキスト】 Japan This Week --衛星放送で学ぶ英語(5)--</p> <p style="text-align: center;">金星堂 (1,900円)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキスト、カセットテープと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語のリスニング能力及び読解力を向上させる。</p> <p>又、英語での質問に英語で答える事により、話す力をつける。</p> <p>更に、時間があれば、習得した表現を使用して文章を書く事も試みたい。</p> <p>ニュースを教材として扱うので、日ごろから新聞に目を通し、テレビのニュース番組を見る様に心掛けておくと、授業内容が頭に入って来やすくなる。</p> <p>既に知っているトピックであれば、外国語であっても、ずっと理解が容易になる。</p> <p>必ず予習をしてから授業に出席する事。</p> <p>この授業に関する予習とは、NEWS STORYの全般的な意味(何が話題となっているのか)を把握しておく事、EXERCISESを含め、解らない単語、熟語、表現等を辞書を使って調べておく事、又、調べても解らない個所を授業中に質問できる様に準備しておく事、等である。</p> <p>英語は「コミュニケーションの手段である」という事を常に忘れずに、授業中は、どんどん声を出し、積極的に授業に参加して頂きたい。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ－１，２リーディング	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 ２年 前期・後期	
【授業目標】 １．英語を総合的に学びながら、真のコミュニケーションとは何かを考える。 ２．映像を通して英米をはじめとした文化の多様性を学ぶ	
【テキスト】 Film Classics (John Dougill: Macmillan)	
【参考書】 Video in action (Susan Stempleski & Barry Tomalin: Prenticehall)	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> １．映画についての解説を英語で読む。 ２．英米の文化を表現している映画を鑑賞する。 ３．映画の内容をまとめたり分析したりする。 ４．映画を通して英語音声の聞き取りにも慣れる。 ５．画面で登場した人物の表情を見ながら、音声や身体全体による表現を学ぶ。 ６．必要に応じて映画の一部を演じてみる。 ７．年間で５～６本の映画を予定している。 	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次に演習を通じて培ってきた英語の基本的技能を、リーディングとリスニングを中心にして、さらに向上させていきたいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】 ビデオ教材中心の予定・・・Cousin William (2) (ロンドンに住んで)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期・後期を通して、ビデオ教材を用いて楽しく、そしてスムーズにリスニングと内容理解の勉強を進めて行きたい。テキストは、ビデオを見ての内容理解のための問題、会話の中で使われている語句を使っての口頭練習、書き取り等で構成されている。さらに英国文化を紹介する短いコメンタリーも入っているので、これをリーディングの練習として使いたいと思う。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのエピソードを取り扱っていて、できれば1回の授業で一つのユニットというペースで進んでいきたいと思うので、学生は必ず毎回出席して、話の展開についてきてほしいと思う。</p> <p>*授業の進め方</p> <p>ビデオのシーンを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題を一つずつやっていく。問題を皆で解決した後には、必ずどれかを提出してもらおう。学生は“自分が主役”という気持ちで、いつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらった練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主な部分としたい。また、それぞれの学期に2～3回の復習テストを行う予定である。時にはポップスを聞いたり、別のリスニング教材をコピーで配って練習することも考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、復習テストの結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 東郷裕
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>TVコマーシャルを通じて英語表現のおもしろさと異文化を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>WATCHING TV COMMERCIALS (1) (成美堂)</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的にはテキスト中心に授業を行うが、「英語表現のおもしろさと異文化を学ぶ」ための教材があれば、随時コピーして配布したい。最終的には、この授業を通じて自分の意見や立場、考えなどを平易な英語で表現できるように心がけていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テストと日ごろの提出物によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2 (オーラル)	【担当者】 森田眞澄
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>	
<p>【テキスト】 First Step Abroad--<旅--言葉と習慣></p> <p style="text-align: right;">金星堂 (2,000円)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語の基本的会話を習得する。</p> <p>英語は、「コミュニケーションの手段である」という事を、常に頭に置き、多少の文法的間違いは気にせずに、活発に声を出して頂きたい。</p> <p>辞書は授業中に使用して良いが、必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>この授業において予習とは、DIALOGの全般的な意味(何が話題となっているのか)を把握しておく事、わからない単語、熟語、表現等を辞書を使って調べておく事、又、調べても理解できない個所を授業中に質問できる様に準備しておく事、等である。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－１、２（リーディング）	【担当者】 長尾主税
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>４年制大学への編入を希望する者を対象とし、読解を中心に試験の問題に対応できる能力を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>各人のレベルを確認した後、プリントを配布してテキストに代える。参考書等については開講時に指示する。なお、必ず英和あるいは英英辞典を持参のこと。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>４年制大学への編入試験には、専門科目や小論文、面接などのほかに、英語が課せられることが多い。そのため編入試験に際して、「論文や専門科目は良くできたが、英語が障壁となった」という事態を免れる程度には知識を獲得し、問題に対応できるようにせねばならない。試験の具体的な問題内容としては、英文和訳が中心であるが、大学によっては文法、整序作文、発音・アクセント、慣用表現等、入試とほぼ変わらない範囲で出題されている。つまり、編入試験を乗り切るためには、もう一度大学の入学試験を受けるのと同等の準備が要求されることになる。</p> <p>各人は、本学を受験した当時の記憶を甦らせ、ブラッシュ・アップに励むことになるが、授業では初歩的な文法を理解した上で、長い論理的な文章を読み解く訓練をする。英語による入学試験を経験したことのない者でも、意欲があれば、努力如何で苦手意識克服し、複雑で長い文章を読みこなせるようになる。積極的に授業に参加し、質問し、疑問点を解消して、「次を読もう」という意欲をもてるようになっていただきたい。</p> <p>実際の試験まで日が限られている(後期から順次実施される)ので、自主学習の負担は大きくなるが、学習すべき教材とその方法については各人のレベルに応じて異なるので、順次説明していく予定である。</p> <p>より具体的なことについては開講時に述べる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2独語	【担当者】 川口眞理
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語のお話を読む力、また旅行で使えるような日常表現を聞いて話す力をつけることを目指します。</p>	
<p>【テキスト】 『ドイツへ行こう』（Nach Deutschland） 田中安行著 三修社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 『ハーメルンの笛吹き男』 小林良孝著 郁文堂</p>	
授 業 計 画	
<p>前期：昨年度の継続でどちらかという文法に重点を置き、後期の読み物のための基礎力をつけていきます。</p> <p>昨年 of 復習、分離動詞、再起動詞、過去時称、受動態 zu不定詞、関係代名詞、接続詞</p> <p>後期：ドイツ人の作家による『ハーメルンの笛吹き男』の絵本を読みます。</p> <p>この物語はドイツ北部の町ハーメルンで中世に実際に起こった不可解な子供たちの失踪事件がもととなっています。</p> <p>ハーメルンでは今でもこの劇が市民によって演じられています。カラーの美しい絵本を読みながら、ハーメルンへの旅行計画もたててみましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、小テスト、期末試験の結果を総合的に判断します。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>映画のシナリオの教科書を使い、一年間で5本の映画のシナリオを、フランス語でともに読み、映画を鑑賞します。映画を通して、フランスの文化、歴史を楽しく学んでいきましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《Si on allait au cinéma》：川合ジョルジェット、中井珠子編：白水社</p>	
<p>【参考書】</p> <p>「赤ちゃんに乾杯」：シナリオとビデオ</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>教科書に採用された映画のシナリオを、じっくりフランス語で読んで、その後、それぞれの映画を鑑賞します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期にレポートによる評価をします。</p>	

專門教育科目（2年）

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 専任教員 他
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていきます。 前期の「心理学研究演習」では、専攻研究に関する文献の購読や予備調査などを行い、後期の「卒業研究」で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的です。</p> <p>研究成果は1月の「卒業研究発表会」で心理学科の内外に向けて発表されます。また、研究報告書(レポート)は個人ごとに作成し、後期末に提出します。</p> <p>研究テーマの決定方法などについては、前年度の卒業研究発表会の前後に掲示による説明があります。</p> <p>次のページ以降に、担当教員の提示したテーマを掲載します。</p>	
<p>【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	萩野七重・小林玄
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	<p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>		
【テキスト】			
【参考書】	<p>必要に応じて、指導教員が指示します。</p>		
授 業 計 画			
<p>1. 幼児期の発達に関する研究</p> <p>昨年度同様、このグループでは、幼児期の子供の発達をテーマに、幼稚園に在園する幼児の観察・調査を通じて研究を進めていきたいと思えます。幼児期の子供の行動特性を親子関係、兄弟関係、友人関係などと関連づけて考察したり、認知能力の質的变化を検討していく予定でいます。</p> <p>また、最近クローズアップされているトピックスとして、知的な発達に偏りを持つ学習障害児についても言及していきたいと考えています。基本的には興味あるテーマを自主的に研究していく姿勢を歓迎します。</p> <p>2. 記憶の発達心理学</p> <p>これまでの「日常記憶研究」の路線を発達の方へ切り替えてみようと考えました。</p> <p>心理学研究演習のなかで、記憶についての基礎的な知識と、記憶の発達についての学習をし、卒業研究では実験計画をたて、実験を行います。</p> <p>具体的なテーマは、学習の過程で見つけていきます。はじめは全員で学習会を、後半は小グループで実験的研究を行います。</p>			
【評価方法】	<p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>		

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 金子尚弘・寺田雅英
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>3. 応用行動分析 1</p> <p>行動は、弁別刺激－自発的反應－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものに行っているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを、実験動物や、ヒトを用いた実験で考えてみます。</p> <p>4. 応用行動分析 2 (脳性麻痺の児童)</p> <p>脳性麻痺によって知的な遅れのある子どもが週に1度白梅学園に通うようになって3年目になります。脳性麻痺とは、脳の障害がもとで運動障害を呈する疾患の総称で、手足の麻痺、知的な障害、言語的な障害を伴う場合もあります。演習では、毎週土曜日の午後、対象児と一緒に勉強し成長の様子を研究としてまとめます。前期は暗算課題を子どもと一緒に考えながら、応用行動分析的な療育方法を勉強し、後期は対象児に合わせて各自が学習計画を立て、その成果を卒業研究としてまとめます。お子さんの都合で予定を変更する場合があります。</p> <p>5. 応用行動分析 3 (自閉症児)</p> <p>自閉症児とは、奇異な行動を繰り返したり、言語発達が遅れ、他人に対する配慮が欠如している子どものことです。コロロE Tセンターには、自閉症児が治療教育のために週に一度通っています。演習では、毎週水曜日の午後、施設に通い、基本的なコミュニケーションを取れる軽度な子どもと一緒に勉強します。前期は文字カードや絵カードを使って言葉や社会的な行動を教えながら、行動分析学的な治療方法を勉強し、後期はそれぞれの子供に合わせて学習計画を立て、半年間の成長を卒業研究としてまとめます。2～3名で一人の子どもを担当することになると思います。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	神田信彦・菅沼真樹
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。		
【テキスト】			
【参考書】	必要に応じて、指導教員が指示します。		
授 業 計 画			
<p>6. 人前になると緊張するのは何故か？</p> <p>人は家族や親しい友達の前だと自然に振る舞えるのに、見知らぬ人や大勢の人の前ではいつもの自分と違ってしてしまうことがあります。恥ずかしさや緊張で「言おうと思っていたことが言えなくなってしまう」「何がなんだかわからなくなってしまう」ということになってしまいます。ではどうしてそのような状態になってしまうのでしょうか。前期にこの原因を説明する理論を学び、後期にはそれに基づいて実験や調査を行う予定です。</p> <p>7. 対人経験と人格特性の発達の研究</p> <p>人格形成において、その人が今までどのような対人経験を積み重ねてきたかということは、重要なことだと考えられます。</p> <p>人が生涯に出会うであろう重要な他者(親、きょうだい、友人、恋人、配偶者、子どもなど)とどのような関係を結ぶのかには、個人差がみられます。</p> <p>ここでは、それらの人々についてどのようにイメージし、記憶しているかということも含めて、人格特性の発達について対人経験を切り口にして検討していきたいと思えます。</p>			
【評価方法】	出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。		

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 倉澤寿之・大石千歳
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>8. メディアを通じた印象形成に関する研究 メディアの発達によって、人の出会いは直接的なものばかりでなく間接的なものも増えて来ています。文字によるコミュニケーション(たとえば電子メール)や、声によるコミュニケーション(たとえば電話)などは、直接的なコミュニケーションと比較してどのような違いがあるのでしょうか。これらのメディアを使うことが、相手の印象を形作る上でどのような影響を与えるのかを実験を通して探ってみたいと思います。</p> <p>9. 発言の信憑性の判断に関する研究 うそをついても見破られずにすむことがあります。逆に、うそではなく本当のことをいっているのに、信じてもらえないこともあります。人がある言動を信用したり疑ったりするのはなぜなのでしょう。この分野の研究は、非言語的な手がかりに着目したものが多くなされてきましたが、今回は主として発言の言語的内容に関する実験、あるいは実験的な質問紙調査を行いたいと思います。</p> <p>10. 黒い羊効果—名誉のための差別— 去年に引き続き、黒い羊効果(black sheep effect)の研究をします。黒い羊効果とは、自分の所属している集団の名誉を守るために、仲間のなかの劣った人や逸脱した人を差別・排除する現象です。集団の名誉を守ろうとするのは、人が集団から「社会的アイデンティティ」と呼ばれるものを自己概念に取り込んでいて、集団の評価が低くなると自分自身の評価に悪い影響が及ぶからです。このような現象に関して、質問紙調査によって研究をしていきたいと思います。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	多喜乃亮介・西村牧子
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	<p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>		
【テキスト】	<p>【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。</p>		
<p>授 業 計 画</p>			
<p>11. 注意の働きに関する研究</p>			
<p>私たちは注意を向けているものだけを見ているのでしょうか。それとも知らず知らずのうちに注意を向けていないことにも影響されているのでしょうか。日常生活の中では注意していてもうっかりと見落とししたり、聞き漏らしたりすることがあります。反対に、それほど注意を向けていなくても、ちょっとした変化に敏感に反応することもあります。時間の経つのも忘れて作業に没頭することあれば、意志に反して注意が散漫になってしまうこともあります。このような注意の働きに関してスポットライトを当ててみようと思います。キーワードとして「注意」を取り上げますが、研究対象や方法、研究計画はグループのディスカッションを通して作っていきましょうと思います。希望者がある場合は、いわゆる「意識的体験」として経験できないような微妙な変化を、脳波測定を利用して観察する基礎的な研究を行うことも可能です。</p>			
<p>12. 幼児期の人間関係</p>			
<p>私たちは誰も幼児期を通りすぎてきました。しかし、なぜ子どもは夢中でごっこ遊びをするのか、なぜけんかしてもすぐに仲直りをするのか。また、彼らは「友達」をどのように捉えているのか。本当のところを私たちは分かっているのでしょうか？経験しているはずなのに分からない子どもたちの「こころ」について、実際に子どもたちを観察・調査することによって追究していきたいと思います。研究の方法としては子どもたちの動きを自然な状態で観察して分析する方法や親子の関係をアンケートによって調査する方法、子どもたちにちょっとした実験をしてもらう方法などがあります。どのような形態を採るかについては各自の目的にあわせて自主的に決めて頂きたいと思います。</p>			
【評価方法】	<p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>		

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 林潔・内山理恵
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>13. ストレスと対処行動 ストレスにどう前向きに対応するか。 このことについて、ストレス対処 (coping) 行動といます。 対処行動には日常的なものもあります。またカウンセリング、心理療法という名称で呼ばれている手続きもあります。 今年は、ストレス対処として一般にどのような手続きがとられているのか、生活における役割と問題点について調べてみたいと思います。</p> <p>14. ジェンダーに関する研究 「男女平等は当たり前」と頭では考えつつも、「デートの費用は割り勘でなく男の子が払ってほしい」と思ってしまう女性は少なくないようです。その一方で「男は仕事・女は家庭」という意見に賛成しつつも、「お互い学生なんだからデートの費用は割り勘で当たり前」と考える女性もいます。このように性別や性役割に対するわたしたちの意識は、一枚岩ではなくとても複雑です。この演習ではジェンダーに関する心理学的知見を学びつつ、卒論研究ではジェンダーに関する意識や態度、たとえば性差意識（「男と女は本質的に違う」という意見に賛成するかどうか）、性役割態度（「男は外・女は内」という意見に賛成するかどうか）などについて質問紙調査を行い、その関連性を調べてみたいと思います。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	金(久保田)愛慶
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は1月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。		
【テキスト】			
【参考書】	必要に応じて、指導教員が指示します。		
授 業 計 画			
<p>15. コーピングと精神的健康との関連：性差を中心に うつ病が女性に多く見られる原因としてはストレスに対する対処法（コーピング）に性差があるのではないかと考えられています。抑うつのみならず、精神的障害における様々な性差とその個人のコーピングパターンとの関連性が多く報告されていますので、本研究ではコーピング特性における性差と精神的健康との関連性を検討したいと思います。</p> <p>精神的健康の指標として何を用いるかは検討中ですが、研究の方法としては主に質問紙法とインタビュー法を用いる予定です。</p> <p>研究の対象としては、青年期～老年期までの可能な限り様々な年齢段階を幅広く設定したいと思います。</p> <p>より具体的な研究計画については学生と共に相談しながら決めたいと考えています。</p> <p>16. コーピング特性と精神的不健康への援助法の効果との関連 男女間にはコーピングの性差が認められていますから、その援助においてもコーピングの個人差や性差が反映されるべきだと考えられます。</p> <p>まだ具体的な研究方法などを考えてはいませんが、できれば青年を対象とした実験的手法を用いて研究を進めたいと思います。</p>			
【評価方法】	出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。		

【授業科目名】 心理学研究法	【担当者】 神田信彦
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 心理療法の基本的な考え方を知り、さらに自己理解、自己啓発の一つとしてコラージュ療法を体験し、自己を捉え直す。また、心理療法としてのコラージュ療法の意義と限界を理解する。	
【テキスト】 山中康裕 他編著『コラージュ療法入門』 創元社 ----- 【参考書】	
授 業 計 画	
・ 演習の進め方は概ね以下の通りである。 1. 心理療法とは 2. コラージュ体験（5～6回） 3. 事例研究（5～6回：輪読） 4. まとめ（連作した自分のコラージュを整理しレポートする）	
【評価方法】 レポートと平常点。	

【授業科目名】 心理学研究法	【担当者】 多喜乃 亮介																		
【開講期】 2 年 前期																			
<p>【授業目標】</p> <p>実習を通して脳波の測定手法を学び、人の脳活動についての理解を深める。また、簡単な実験を行い、認知機能を測定する場合の制約と実験的工夫について学ぶ。</p>																			
【テキスト】																			
<p>【参考書】 大熊輝雄, 『臨床脳波学』, 医学書院, 1983 宮田 洋 他, 『生理心理学』, 朝倉書店, 1985 時実利彦 他, 『新脳波入門』, 南山堂, 1979</p>																			
授 業 計 画																			
<p>前半は脳波計の操作および電極装着の練習を中心に進める。実際の操作を通して、脳波がどのような現象を記録したものであるのか、どのような注意が必要か、脳波以外の生体電気現象にはどのようなものがあるのか、などについて学習する。また、各自が測定を行い、自発脳波の特徴、意識水準と脳波の関係などについて学習する。</p> <p>次に、実験場面を設定して、脳で営まれる働きがどのように脳波上に反映されるのかを観察する。また、臨床脳波で異常と分類される現象はどのようなものであるのかを学習する。</p> <p>以下の項目に従って進める。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. ガイダンス</td> <td>脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点</td> </tr> <tr> <td>2. 脳波計の操作</td> <td>入力部, 増幅部, 出力部の構造と操作</td> </tr> <tr> <td>3. 電極の装着</td> <td>国際 10-20 法, 探査電極, 基準電極, 接地電極</td> </tr> <tr> <td>4. 電極装着実習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 記録実習</td> <td>閉眼安静時記録, 睡眠時 (入眠期) 記録</td> </tr> <tr> <td>6. データ整理 1</td> <td>波形認識, アーチファクト, 周波数と振幅の測定 (藤森法)</td> </tr> <tr> <td>7. 実験</td> <td>課題遂行時の脳波 (精神作業時, 音楽 / 騒音聴取時, など)</td> </tr> <tr> <td>8. データ整理 2</td> <td>周波数分析, 加算平均</td> </tr> <tr> <td>9. 脳波異常</td> <td>脳波の発達の变化, 波形異常</td> </tr> </table>		1. ガイダンス	脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点	2. 脳波計の操作	入力部, 増幅部, 出力部の構造と操作	3. 電極の装着	国際 10-20 法, 探査電極, 基準電極, 接地電極	4. 電極装着実習		5. 記録実習	閉眼安静時記録, 睡眠時 (入眠期) 記録	6. データ整理 1	波形認識, アーチファクト, 周波数と振幅の測定 (藤森法)	7. 実験	課題遂行時の脳波 (精神作業時, 音楽 / 騒音聴取時, など)	8. データ整理 2	周波数分析, 加算平均	9. 脳波異常	脳波の発達の变化, 波形異常
1. ガイダンス	脳の構造, 脳波の発生起源, 記録上の注意点																		
2. 脳波計の操作	入力部, 増幅部, 出力部の構造と操作																		
3. 電極の装着	国際 10-20 法, 探査電極, 基準電極, 接地電極																		
4. 電極装着実習																			
5. 記録実習	閉眼安静時記録, 睡眠時 (入眠期) 記録																		
6. データ整理 1	波形認識, アーチファクト, 周波数と振幅の測定 (藤森法)																		
7. 実験	課題遂行時の脳波 (精神作業時, 音楽 / 騒音聴取時, など)																		
8. データ整理 2	周波数分析, 加算平均																		
9. 脳波異常	脳波の発達の变化, 波形異常																		
<p>【評価方法】</p> <p>電極の装着と脳波計の操作で 50 点, 各自の記録した波形を分析し, レポートとして提出したものを 50 点として評価する。</p>																			

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 菅沼真樹
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>調査面接法の理解と習得</p> <p>発達研究や質的研究において用いられる調査面接の技法を習得する。実習を通して、質問事項の設定、面接の展開、結果の整理といった一通りの手続きを学んでいく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定はしないが、授業の中で適宜紹介していく。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>同上</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 面接法の概観</p> <p>臨床面接と対比させながら、調査面接の特徴を概観する。面接の目的によってどのような面接法を選択すればよいのか、また、実施するためにはどのような準備が必要なのか、などについて学んでいく。</p> <p>2. 調査面接の実習</p> <p>面接者、被面接者役を体験する中で、実施上の面接技法を体得することを目指す。どのような面接姿勢が望ましいのかなどについて、実習をふりかえる中で考えていきたい。 (尚、面接結果の整理のために不可欠であるテープ起こしには、相当の労力を要します。)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点(授業の中で課題を出していきます)</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 久保田健市
---------------	-------------

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】
 質問紙調査は、心理学の研究をはじめ、世論調査・マーケティングなどにも活用されている重要な研究手法である。この授業では、質問紙作成の基本的な知識と技法を学び、自分たちの手で簡単な調査を実施する。また、パソコンを用いたデータの処理やまとめ方について、基本的な技法を修得する。

【テキスト】
 プリントを適宜配布

【参考書】
 井上文夫・井上和子・小野能文・西垣悦代 よりよい社会調査をめざして 創元社
 内田 治・醍醐朝美 成功するアンケート調査入門 日本経済新聞社

授 業 計 画

授業は、「講義」と「実習」に分かれます。「実習」では、1～3グループに分かれて、あるテーマに従って、簡単な調査を行います。毎回の授業では、前半に講義をし、後半には話し合いや作業を自主的に行う形式に、なるべくしたいと思います。また、必要に応じて授業時間外にも話し合いや作業をするなど積極的な授業参加を希望します。

[授業の予定]

コマ	講 義	実 習
①	オリエンテーション, 質問紙調査法の概説	調査内容・調査計画の決定
②	調査の計画	↓
③	質問文の作成法と注意点, 質問紙の構成・体裁	質問文・質問紙の作成
④	調査の方法	↓
⑤		↓
⑥		予備調査
⑦	サンプリング方法	サンプリングの実習
⑧		本調査の実施, 調査表の回収・事後処理
⑨		データの入力
⑩	グラフの利用法	データの集計・解析
⑪		↓
⑫		図表の作成, 結果の解釈
⑬	試験	

[その他] レポート(報告書)の作成

【評価方法】
 試験(40%)
 レポートの内容+実習への貢献度(60%) を総合して判断。

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 江守麻子
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>心へのアプローチは脳へのアプローチでもある。従ってこの授業の目的のひとつは、心理学を学ぶ者にとって必要不可欠な、脳についての知識を提供することである。また、身体的な要因が心理に、また心理的な要因が身体に与える変化を、いくつかの実験によって明らかにする。これらの作業は「心の実体化」であり、心身の密接なつながりを実証することでもある。このような視点にたつことにより心の見え方、人間という存在の見え方はどのように変わるだろうか。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じてそのつど紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業内容は（１）精神生理学、（２）生理心理学、（３）神経心理学の分野にまたがる。（１）、（２）では実験演習を中心に、（３）では講義を中心におこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 精神作業時の心拍数の変化 ～実験の手順説明 3. <実験> 4. <実験> 5. データ整理と討論 6. EDA（虚偽検出） ～実験の手順説明 7. <実験> 8. <実験> 9. データ整理と討論 10. 神経心理学の最近のトピックス（分離脳、失語症）～講義 11. オペラント条件付けと報酬系 ～実験の手順説明 12. <実験> 13. データ整理と討論 14. 脳内物質その１（ストレスと脳内麻薬）～講義 15. 脳内物質その２（ドパミンと分裂病）～講義 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 中丸 茂
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>行動の定義、測定、予測、制御を実際にも実習形式で行いながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、行動分析学の方法を、日常生活や臨床場面、コーチングなどへ応用する力も養う。</p>	
<p>【テキスト】 講義時にプリントを配布（書き込み形式）</p> <p>*講義終了時には、行動分析学の自分だけのテキストが出来上がる</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 アルバートら 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社</p> <p>super string SR211995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社</p> <p>杉山ら 1995 行動分析学入門 産業図書</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。その分析単位は、環境と行動についての時間的、空間的關係（随伴性）であり、様々な現象に対して、客観的なアプローチを行っている。</p> <p>本講義は、基礎知識の取得期（講義）とその応用（実習）という2つの形式をとる。前半は、俗信行動（占い、相性、心霊現象）や情動行動（恋愛）などをテーマとして、実験行動分析を中心に講義を行い、後半は、ダイエットや遅刻をなくすなど、各受講者の希望にあわせて、応用行動分析の方法を身につけてもらう。</p> <p>[行動分析学の基礎知識]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学って何？ あの世は科学の対象になるか？ 死人に口なし！！ 2. 三項随伴性 恋人が冷たくなるとなぜ不機嫌になるのか？ 3. 迷信行動 当たるも八卦当たらぬも八卦？ 4. 情動行動 ヒトはもちろんのこと、ラットやハトも嫉妬する？ <p>[応用行動分析]</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 行動目標 客観って何？ 6. 行動観察法 ヒロちゃんはマイクを何回持ち替えるか？ 7. 実験計画法 なにが行動を制御してるのか？ 8. 査定 行動分析学に統計の知識はいらない？ 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート 1. 行動観察法 実習</p> <p>2. 応用行動分析（パフォーマンス・マネジメント）</p>	

【授業科目名】 心理学研究法 (カウンセリングの実際)	【担当者】 川島 真
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業は次の3点を目標にしたいと思います。</p> <p>①カウンセリング・マインドを身につけること</p> <p>②カウンセリングはどんなところでどのように行われているのかを知ること</p> <p>③心の専門家としてのカウンセラーに必要な知識と技術とはなにかを知ること</p> <p>これらの他に、専門家としてのカウンセラーは今どんな仕事をしているのか、そして最近の日本では、どのような心の問題が起こっているのか、についても学んでもらいたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めず、必要に応じて授業時にプリントを配布します</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>「カウンセリングについて少し詳しく学びたい」という人向けに授業内容は構成しました。</p> <p>「カウンセリングって何をやるのだろうか」、「カウンセラーとはどんな仕事なのか」を知り、カウンセリングの方法・進め方などを中心に学びます。</p> <p>授業はプリントやビデオを使って、わかりやすく具体的に進めていきたいと思います。また、少人数の授業であることをいかして、一方的な講義ではなく、みなさんの考えや感想をお互いに言い合いながら、全員が参加できる授業にしたいと考えています。</p> <p>カウンセリングに興味のある人やカウンセラーについて知りたい人はふるって参加してください。</p> <p style="text-align: center;">(授業予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カウンセリングはどうして必要なのか 2 カウンセラーの仕事 3 現代青年のこころ (1) 4 現代青年のこころ (2) 5 子どもたちと学校の問題 (1) 6 子どもたちと学校の問題 (2) 7 スクール・カウンセリング 8 福祉現場でのカウンセリング 9 カウンセリング・マインド 10 カウンセリングの進め方 11 面接の実際—面接の進め方と面接の技法 12 カウンセリングのいろいろ 13 日常生活に活かせるカウンセリング 14 まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート試験を実施。レポート課題は第12回授業時に配布し、最終授業時に提出の予定。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 心理学研究法 箱庭作りの体験	【担当者】 三浦和夫
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>子どもの心理的問題への対応として開発された箱庭療法は、現在では、その対象範囲を広げ、大人のいわゆる健常者への自己啓発のための技法としても使われるようになった。 授業では、実際に箱庭作りを各自体験する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>初回：オリエンテーション 2回目以降：各自の箱庭作り 最後の2～3回で、箱庭療法の理論、歴史、実際の事例を紹介する。 尚、時間の余裕があれば、グループによる箱庭制作も実施してみたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポート</p>	

【授業科目名】 心理学研究法	【担当者】 若山隆良
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>HTP法などの描画法を実際に体験することを主眼とし、描画のに象徴的な理解についての理解を深める</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>必要に応じて、印刷物を配布する</p>	
授 業 計 画	
<p>第1週 描画法についてのオリエンテーション</p> <p>第2~3週 バウムテスト</p> <p>第4~5週 風景構成法</p> <p>第7週 スクイッグル</p> <p>第週9~12週 HTP法</p>	
<p>【評価方法】 授業への参加の度合いと期末のレポートによって評価を行う 精神保健(2単位)</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 小林能成
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、バイオフィードバック法の理解と、実際の訓練の実施による訓練技法の修得を目的とする。講義・実習を通して、心と身体の関係についての理解を深めてほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】 J. Hassett (平井久 他訳), 「精神生理学入門」, 東京大学出版会, 1987 宮田 洋 (監修), 「新 生理心理学 2 巻」, 北大路書房, 1997</p>	
授 業 計 画	
<p>バイオフィードバックとは、通常では認知し難い生体反応を、装置を用いて認知の容易な情報に変換して生体にフィードバックする方法である。この方法を用いて生体反応の自己制御を行うのがバイオフィードバック訓練である。</p> <p>授業では、まず最初にバイオフィードバック法の原理を解説した上で、次に実際の訓練を通じて機器の操作法や測定技術を身につけると共に、心と身体に関連性についての理解を深める。さらに、実際の臨床応用例についても紹介し、実習も行う予定である。</p> <p>〈授業の予定〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心と身体反応の関連性 簡単な実験と講義 2. バイオフィードバックとは何か 基本的な原理を講義により解説 3. バイオフィードバック訓練の実施 幾つかのバイオフィードバック法についての実習 4. バイオフィードバック訓練の臨床応用と今後の可能性 バイオフィードバックの臨床応用例の紹介と方法の解説 5. バイオフィードバック法によるリラクセーション訓練 バイオフィードバックによるリラクセーション訓練を計画し実施する 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目名】 社会心理学	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 他者がいることによって受けるさまざまな影響や、他者との間に起こるさまざまな心理学的プロセスを学び、他者と自己とのかかわりについて理解を深めます。	
【テキスト】 【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・社会心理学とは 授業の方針や講義の概要について説明します。 2. 他者がいることによる効果・社会的促進と抑制 他者がそばにいるというだけで、私たちは非常に多くの影響を受けているのですが、ふだんあまり気づくことはありません。そういった隠れた影響について話します。 3. 他者をどう見るか(1)印象形成 他者から受ける印象がどのように出来上がっているのかを考えます。 4. 他者をどう見るか(2)原因帰属 他者の行為を見たとき、私たちはその人がなぜそのようなことをするのかという原因を考えようとします。そのメカニズムについて考えます。 5. 自分を見つめる・自己意識 「自分」を意識することは、他の動物にはほとんど見られない、人間だけの特徴です。この自己意識が私たちの行動とどのようにかかわっているのかを見ていきます。 6. 自分を知る・自己知覚 「自分のことは自分がいちばんよくわかる」と思っているものですが、果たしてそうでしょうか。私たちが自分のことを知るようになるプロセスを考えてみます。 7. 自分を見せる・自己呈示 「自分が他者からどのように見えるか」は誰にとっても気になる場所ですし、実際私たちは意識的にも無意識的にも他者からの見え方をコントロールしようとしています。そのための数々の「技」(?)をご紹介します。 8. グループを作る・リーダーシップ 集団で何かをするとき、リーダーの存在は非常に重要です。リーダーシップについて考えます。 9. 人に近づく、離れる・空間行動 私たちが他者との間に無意識的に維持している距離の意味を考えます。また、動物と同じような「なわばり行動」についても紹介します。 10. 人を好きになる・好意の成立 人を好きになるのはなぜか、好きになってほしいとしたらどうしたらよいかについて、実験データをもとに考えます。 11. 人を信じる・ヒューリスティックス 他人からもたらされた情報を、私たちがいかに正しく、客観的に評価できないかということをお話しします。 <p>途中、中間テストを2回か3回行います。</p>	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし) 規定回数以上出席しなかった場合、期末試験の受験資格を与えません。	

【授業科目】 性格心理学	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>「性格とは何か？」， 「性格心理学の分野では何を研究しているのか？」， 「性格心理学での研究はどのような貢献をしているか？」， などをキーワードにし，性格心理学を概観する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 大貫敬一・佐々木正宏（編著） パーソナリティの心理学 福村出版 野口京子（著） 性格心理学 明星大学出版部 青柳肇・杉山憲司（編著） パーソナリティ形成の心理学 福村出版</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は大まかに次のような順に進められる予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 性格の定義 2) 性格の捉え方：類型論と特性論の各論 3) 各学派における性格の理解：精神分析的・現象学的・行動論的 4) 性格の形成と発達 5) 性格における健常と異常の様相：人格障害とその治療 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験</p>	

【授業科目名】 精神生理学	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>意識を作り上げる脳の活動，およびその活動を反映する身体的変化を題材に取り上げる．実験研究を中心に，見る，聞く，感じるときに脳や身体にどのような変化が生じているのかを学ぶ．そこから心と体の関係、あるいは脳と心の関係について理解を深める．</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 J. L. アンドレアッシ, 『心理生理学』, ナカニシヤ出版, 1985</p> <p>J. ハセット, 『精神生理学入門』, 東京大学出版会, 1987</p> <p>宮田 洋 他, 『生理心理学』, 朝倉書店, 1985</p>	
授 業 計 画	
<p>基本的に人を対象とした実験例を中心に，心と体の関係について学習する，</p> <p>まず神経系の働きの基礎と測定方法について学び，次に精神活動の基盤となる意識を司る脳の働きについて学習する．ここでは睡眠と覚醒，なぜ人は眠るのか，といった問題に関連した研究を取り上げる．また，外部環境刺激に対する生体反応について，体の末梢に現れる自律神経系の反応と脳活動を測定したときの反応を紹介する．最後に高次脳機能研究の例として，注意，記憶，学習などと関連した脳の働きを紹介する．</p> <p>以下の項目に沿って講義を進める．</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心と体を結ぶ神経系の働きの基礎，測定方法 <ul style="list-style-type: none"> 中枢神経系と末梢神経系 体性神経系と自律神経系 脳の構造と代表的な中枢機能 2. 意識を司る脳の働き <ul style="list-style-type: none"> 睡眠・覚醒中枢と脳波の発生 徐波睡眠，REM睡眠，生体リズム，睡眠の発生 精神活動と脳波上の変化 3. 末梢に見られる生体反応 [自律神経系の反応] <ul style="list-style-type: none"> 汗腺活動，心臓血管系の反応 心理的要因と自律神経系の反応 情動理論と神経系の働き（扁桃核，視床下部，報酬系） 4. 脳に見られる活動 [中枢神経系の活動: EEG, MEG, PET, MRI, fMRI] <ul style="list-style-type: none"> 誘発反応（体性感覚野，視覚野，聴覚野，脳幹）と事象関連電位 運動機能と脳活動（運動野，補足運動野，小脳） 認知機能と脳活動（頭頂連合野，側頭連合野，前頭連合野，海馬） 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中の課題提出と定期試験</p>	

【授業科目】 心理検査法	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">心理検査法の基礎知識及び 各種心理検査の実施における技術の習得</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 松原達也（編著） 心理テスト法入門 日本文化科学社 岡堂哲雄（著） 心理テスト 講談社現代新書 岩脇三郎（著） 心理検査における反応の心理 日本文化科学社</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は大まかに次のような順に進められる予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心理検査の歴史：心理検査の目的とその意義 2) 心理検査の理論：信頼性・妥当性の問題，心理検査実施上の注意点 3) 各種心理検査法の紹介：質問し法・投影法・作業検査法 4) 各種心理検査法の実施とその解釈 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">心理検査のレポート</p>	

【授業科目名】 カウンセリング	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 カウンセリングの役割について理解します。 あわせて、さまざまなカウンセリング，心理療法の考え方についてとりあげます。	
【テキスト・参考書】 テキスト：内山，高野，田畑 「講座サイコセラピー1：カウンセリング」日本文化科学社 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 田畑治，他「来談者中心療法」，ビアーズ「わが魂にあうまで」， 国分康孝「カウンセリング・ワークブック」，ガーフィールド「心理療法」 内山喜久雄「登校拒否」，杉溪一言「カウンセラーの悩みと生きがい」 中西信男，他「最新カウンセリング入門」，上田閑照「十牛図」，他	
授 業 計 画	
1. カウンセリングの役割 悩む人と，悩ますもの（ストレッサー）について。 2. カウンセリング，心理療法の流れ 3. カウンセリングの基本的立場の紹介 科学的アプローチと現象学的アプローチ 4. 来談者中心カウンセリング概説(1) 来談者中心カウンセリングの特徴 5. 同 (2) Rogersの適応論と人格論 6. 同 (3) 来談者中心カウンセリングの方法 7. カウンセリングの倫理 8. カウンセリングの進め方 VTR 9. 応答訓練	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 児童相談	【担当者】 神田信彦
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 子どもの不適應の原因を理解する視点を持ち、相談を進める上での相談の方法、進め方や相談担当者の心構えを理解する。	
【テキスト】	
<p>-----</p> 【参考書】 小林・加藤・神田『子育てのオアシス』ブレーン出版	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 最近の子どもたちの不適應行動 2. 心の発達と不適應行動（1）－幼児期・学童期の問題（1）－ 3. 心の発達と不適應行動（2）－幼児期・学童期の問題（2）－ 4. 心の発達と不適應行動（3）－思春期の問題（1）－ 5. 心の発達と不適應行動（4）－思春期の問題（2）－ 6. 不適應行動の理解の方法 7. 相談の進め方（1）－インタビューから相談開始まで－ 8. 相談の進め方（1）－相談担当者の心構え－ 9. 遊戯療法（1）－遊戯療法の意味とその種類－ 10. 遊戯療法（2）－箱庭療法－ 11. まとめ 12. 試験 	
【評価方法】 試験と小レポート。出席重視	

【授業科目名】 心理療法	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 今日の代表的な心理療法として、行動療法と認知行動療法の基礎について紹介します。	
【テキスト・参考書】 テキスト：「カウンセリング」と同じ 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 上里一郎「行動療法」、坂野雄二「認知行動療法」、 園田順一、他「子どもの臨床行動療法」、氏家寛「心理面接のノウハウ」、 ベック「認知行動療法」、中西信男、他「ストレス克服のためのカウンセリング」、他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ふたたびカウンセリングの流れ 2. 行動療法の特徴 3. 行動療法と受理面接 4. 行動療法のアウトライン VTR利用 5. 行動療法の技術(1) 系統的脱感作 6. 同 (2) フラッディング 7. 同 (3) モデリング 8. 同 (4) シェイピングと強化技法(1) 9. 同 (5) シェイピングと強化技法(2) 10. 同 (6) 消去 11. 同 (7) アサーション訓練(1) 12. 同 (8) アサーション訓練(2) 13. 認知行動療法の技術(1)：認知行動療法とは 14. 同 (2)：Beckの立場を中心に 15. 同 (3)：Ellisの立場を中心に 16. 同 (4)：認知行動療法の技術(1) 17. 同 (5)：同 (2) 	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、人間の相互作用をゲーム理論の考え方から分析する立場を学びます。	
【テキスト】 【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. ゲーム理論(第3日) <ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論による対人行動の分析 さまざまな戦略と人間行動 	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目名】 非行の心理学

【担当者】 神田信彦

【開講期】 2年 後期

【授業目標】 反社会的行動としての非行を心理学的に捉え直し、非行行為が生起するまでの個人内の心理的メカニズムや環境としての対人関係や社会・文化の問題点を捉える視点を養う。

【テキスト】

【参考書】

金子・神田・倉澤著『最後まで読める心理学』ブレーン出版

授 業 計 画

1. 非行の動向
2. 非行理論（1）社会学的理論
3. 非行理論（2）心理学的理論・精神力動的理論
3. 非行の背景要因（1）－非行少年の認知と行動－
4. 非行の背景要因（2）－家庭・学校・社会・文化－
6. 非行のメカニズム（1）－盗みの心理－
7. 非行のメカニズム（2）－暴力非行の心理－
8. 非行のメカニズム（3）－暴力非行の心理－
9. 非行のメカニズム（4）－薬物乱用の心理－
10. 非行のメカニズム（5）－特異な事例の理解は可能か？－
11. まとめ
12. 試験

【評価方法】 試験と小レポート。出席重視。

【授業科目】 障害児心理学	【担当者】 山田寿子								
【開講期】 2 年 後期									
<p>【授業目標】</p> <p>障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ること为目标とする。</p>									
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>									
<p>【参考書】</p>									
<p>授 業 計 画</p>									
<p>障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互連関を明らかにし、その原因を考えることが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的理解と実践のための基礎的知見を体系的に考えることが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の捉え方及び治療方法について述べる。</p> <p>授業は以下の項目にそって進める。</p> <p>§ 障害の定義</p> <p>第1章 障害児心理学の目的・課題</p> <p>第2章 診断とテスト</p> <p>第3章 障害の医学・生理学的基礎</p> <p>第4章 障害各論</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>第1節 視覚障害</td> <td>第5節 自閉症</td> </tr> <tr> <td>第2節 聴覚障害</td> <td>第6節 言語障害</td> </tr> <tr> <td>第3節 肢体不自由</td> <td>第7節 学習障害</td> </tr> <tr> <td>第4節 知的障害</td> <td>第8節 重症心身障害</td> </tr> </table>		第1節 視覚障害	第5節 自閉症	第2節 聴覚障害	第6節 言語障害	第3節 肢体不自由	第7節 学習障害	第4節 知的障害	第8節 重症心身障害
第1節 視覚障害	第5節 自閉症								
第2節 聴覚障害	第6節 言語障害								
第3節 肢体不自由	第7節 学習障害								
第4節 知的障害	第8節 重症心身障害								
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>									

【授業科目】 健康心理学	【担当者】 安田朝子
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康心理学は、疾患予防と健康増進を目的とした新しい学問です。本講座では、健康とはどのような状態を指しているのか、健康獲得と維持のためにどのようなことが成し得るのか、について探っていきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時、資料を配布します。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>健康心理学は、時代の要請で生まれました。本講義では、健康心理学誕生の背景から今日に至るまでのプロセスを辿っていきます。そして、日常で出会うことの多い出来事と関連付けながら、健康であるということ、健康であることを失うということ、についての見解を紹介していきます。</p> <p>・ 予定しているテーマ</p> <p>健康心理学とは その誕生背景と学問的目標 健康とは…健康をめぐる論争</p> <p>ストレス研究のいろいろ ストレスとは…ストレス研究の紹介 ストレスとどう暮らすか</p> <p>「心」の問題、「体」の問題…心身の相関 情緒における身体 行動特性またはライフスタイルと身体疾患</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、課題、および定期試験を総合的に評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学特講Ⅰ	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 心理学特講として、交流分析の実際について紹介します。 交流分析は、いわば精神分析をやさしくしたものとして知られています。 心のからくり、対人関係の持ち方について、考えてみましょう。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 杉田峰康「交流分析のすすめ」、池見酉次郎、他「セルフコントロール」、 新里里春「交流分析療法」、杉田峰康「交流分析」、新里里春「交流分析とエゴグラム」、 中村和子「わかりやすい交流分析」、他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神分析と交流分析 2. 交流分析のアウトライン 3. 自我の構造分析(1) : エネルギー充当の対象：Critical Parent, Nurturing Parent, Adult, Free Child Adapted Child 4. 同 (2) : 排除, その他 5. 同 (3) : エゴグラム 6. 交流様式(人間関係の持ち方)の分析(1) : 相補的交流, 交差交流, 裏面交流 7. 同 (2) : 交流の動機—ストローク, 時間の構造化 8. 同 (3) : 自己と他者への基本的関係 9. 自我状態の分析と適応上の問題 10. ゲーム分析(1) : ゲーム(適応上の問題をもたらす行動様式)について 11. ゲーム分析(2) : ラケットとデイスカウト 12. 脚本分析(1) : 脚本(反復強迫)の意味 13. 脚本分析(2) : 脚本のタイプと禁止令 14. 脚本分析(3) : 脚本からの脱出 (わかりやすいVTRがありますので、基本的にはVTR使った授業になります) 	
【評価方法】 平常点, 中間試験, レポート	

【授業科目】 心理学特講Ⅱ	【担当者】 伊藤典幸
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 今後自らが社会生活の中で遭遇するであろう問題解決場面で心理学が いかに有効かを知るとともに、現実の場面でこれまで学んだ心理学の 知識を効果的に活用しうる能力を身につけることを目標とする。	
【テキスト】 必要に応じプリントを配布	
【参考書】 必要に応じ随時紹介する。	
授 業 計 画	
<p>心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した後、下記のテーマについてより掘り下げた解説を行っていく。</p> <p>1. 居住空間の設計</p> <p>応用的な見地から現実の空間の中での人間の行動についての実験例、事例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作り出すには、どのような設計をするべきかを応用心理学的な見地から考えていく。</p> <p>2. 企業向け教育訓練プログラムの体験</p> <p>米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されているコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここでは、このプログラム自体の意義を考えると同時に、トレーニングプログラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。</p> <p>3. 事故とヒューマンエラー</p> <p>航空機事故、工場事故その他の事例をとりあげ、事故原因におけるヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマン・マシン・インターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識していく。</p>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目】 精神保健	【担当者】 青田洋一
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』（紀伊國屋書店）</p>	
授 業 計 画	
<p>おおよそ以下の項目にそって進める。</p> <p>①総論…精神障害とは？ 予防とは？</p> <p>②基本的用語の理解 不安, 恐怖, 強迫, 離人, 心気, 抑うつ, 躁, 幻覚, 妄想, せん妄 もうろう, 憑依, 痴呆, 健忘, e t c</p> <p>③精神障害の分類</p> <p>④精神分裂病</p> <p>⑤躁うつ病</p> <p>⑥神経症</p> <p>⑦その他の精神障害</p> <p>⑧精神障害の治療</p> <p>⑨精神障害と責任能力</p> <p>⑩精神医療の現状と問題点</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">定期試験 (テスト)</p>	

【授業科目】 精神医学	【担当者】 座間味宗和
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>① 精神医学の歴史的な変遷を講ずる。 ② 正常と病態心理の理解を深める。 ③ 精神障害の分類を概説する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>① 心の医学 柏瀬宏隆著 朝倉書店 ② 精神神経科 柏瀬宏隆著 朝倉書店</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>精神医学という言葉は、きわめて古く、ライル (J. C. Reil) が 1808 年に初めて使用したと考えられている。そして、多角的な研究によって近年の精神医学は人間関係を明らかにする医学の一つとして理解されるようになってきた。とりわけ、昨今の科学研究の進歩は著しく、精神医学や心理学そして精神病理学などの領域が広くなり、対象も拡大化してきた。したがって、本講においては、歴史的な変遷、内因性、外因性、心因性などの精神障害を大別し、その成因論、診断論、治療論そして昨今の予防論について概説すると共に、可視的方法で理解を深めたい。</p>	
<p>【評価方法】</p>	

司書科目（2年）

【授業科目】 図書館サービス論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者とは直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 『利用者サービスと利用者教育』長澤雅男・小田光宏共著 雄山閣 1991(初版) (講座 図書館の理論と実務 7)</p> <p>『改訂 図書館活動』前島重方ほか 樹村房 1995 (図書館学シリーズ6)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館とそのサービス 図書館サービスの原則と形態(貸出 読書案内 情報サービス 利用者援助 教育・文化活動など)</p> <p>(2) 資料・情報提供サービス</p> <p>(3) 利用教育 方法とメディア 館種別の利用教育</p> <p>(4) 利用対象別サービス</p> <p>(5) 図書館サービスと著作権</p> <p>(6) 図書館サービスの協力</p> <p>(7) 集会・文化活動など</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、授業時に行うミニテスト、期末試験</p>	

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結び付け、人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について総合的に学習する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>『レファレンスサービス 図書館における情報サービス』長澤雅男 丸善 1995 『情報サービス概説』小田光宏 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報学テキストシリーズ4) 『情報サービス概説』渋谷嘉彦編 樹村房 1998 (新・図書館学シリーズ4) 『情報サービス概説』田村俊作編著 1999 (新 現代図書館学講座5)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスの概要</p> <p>(2) 情報サービスの基礎 レファレンスサービス 利用案内 レフェラルサービス カレントアウェアネスサービス オンライン検索サービス CD-ROMの利用サービス</p> <p>(3) 情報サービスの展開 読書相談サービス 学習情報提供サービス 地域における情報サービス 案内・紹介サービス</p> <p>(4) 情報源の種類と評価 図書館の情報源の種類 印刷メディアと電子メディア 館内で作成・編成する情報源 情報源の構築 情報源の評価</p> <p>(5) 情報ニーズへの対応</p> <p>(6) 情報サービスの管理</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点 授業時に実施するミニテスト 期末テスト</p>	

【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする。</p>	
<p>【テキスト】 『情報源としての レファレンスブックス』長澤雅男 日本図書館協会 1995 『問題解決のための レファレンスサービス』長澤雅男 日本図書館協会 1995</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報源の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンスコレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 書誌の作成</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習課題レポートと、期末のレポート</p>	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 前期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 『専門資料論』中森強編著 東京書籍 1998（新 現代図書館学講座 9） 『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998（新・図書館学シリーズ 8）</p>	
授 業 計 画	
<p>I. 専門資料の概要</p> <p>II. 人文科学 人文科学資料の特性 人文科学資料の書誌と参考図書 人文科学資料へのアクセス</p> <p>III. 社会科学 社会科学資料の特性 社会科学資料の書誌と参考図書 社会科学資料へのアクセス</p> <p>IV. 科学技術 科学技術資料の特性 科学技術資料の書誌と参考図書 科学技術資料へのアクセス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点 ミニレポート 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年前期(前半)	
【授業目標】 印刷資料、視聴覚資料、デジタル資料等、資料がもつ特質と役割を理解し、選定・収集・利用のために必要な技能を習得する。	
【テキスト】 なし	
【参考書】 『資料特論』(新・現代図書館学講座14) 東京 東京書籍 1998 『図書館資料論』(新編 図書館学教育資料集成5) 東京 教育史料出版会 1998	
授 業 計 画	
<p>図書館資料には、郷土資料と行政資料、印刷資料と視聴覚資料等、その資料が有する役割と特性がある。それぞれの特性を生かしたライブラリー運用と、資料制作のための技能を学習する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料のもつ役割と特性 2. 図書館資料の多様化と特色ある運用 3. 実習：視聴覚資料の制作 	
【評価方法】 レポート/制作資料	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。 また、人間の相互作用をゲーム理論の考え方から分析する立場を学びます。	
【テキスト】 【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. ゲーム理論(第3日) <ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論による対人行動の分析 さまざまな戦略と人間行動 	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目】 図書館特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年前期(後半)	
【授業目標】 多様化している図書館資料のうち、特に視聴覚資料を中心に、その特性を理解し、運用のための機器操作を習得する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。	
【テキスト】 な し	
【参考書】 『図書館サービス論』(新編 図書館学教育資料集成3) 東京 教育史料出版会 1998 『情報サービス概説』(JLA図書館学情報学テキストシリーズ4) 東京 日本図書館協会 1997	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料のレファレンス・サービスに必要な機器の特性と操作技能を学習する。 ・ メディア・ライブラリアンの資質とレファレンス・サービスについて考察する。 ・ 視聴覚資料を作成するための技能を習得する。 <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視聴覚ライブラリーの役割と運用 2. 視聴覚機器の特性と操作 3. 実習：ビデオ撮影と編集 4. メディア・ライブラリアンの資質 	
【評価方法】 レポート／自主制作ビデオ	

学籍番号・

氏 名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
教務課042(346)5619